

# 緑ヶ丘中学校便所改修工事

普通教室棟 3階、2階、1階女子便所

- ・和風便器から洋風便器へ改修
- ・トイレブース改修

# 緑ヶ丘中学校便所改修工事

## 目次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	改修工事特記仕様書(1)	A-21		E-01		M-01	機械設備特記仕様書
A-02	改修工事特記仕様書(2)	A-22		E-02		M-02	普通教室棟 1階便所 給排水衛生設備平面図
A-03	改修工事特記仕様書(3)	A-23		E-03		M-03	普通教室棟 2階便所 給排水衛生設備平面図
A-04	改修工事特記仕様書(4)	A-24				M-04	普通教室棟 3階便所 給排水衛生設備平面図
A-05	改修工事特記仕様書(5)	A-25				M-05	
A-06	配置図	A-26				M-06	
A-07	普通教室棟 1階平面図	A-27				M-07	
A-08	普通教室棟 2階平面図	A-28				M-08	
A-09	普通教室棟 3階平面図	A-29				M-09	
A-10	普通教室棟 1階便所 平面詳細図	A-30				M-10	
A-11	普通教室棟 2階便所 平面詳細図	A-31					
A-12	普通教室棟 3階便所 平面詳細図	A-32					
A-13	普通教室棟 1・2階便所天井伏	A-33					
A-14	建具表						
A-15							
A-16							
A-17							
A-18							
A-19							
A-20							

# 改修工事特記仕様書（改修）

- I. 工事名称 緑ヶ丘中学校便所改修工事  
II. 工事概要  
1 工事場所 三重県伊賀市緑ヶ丘本町 地内  
2 敷地面積  
3 工事内容  
様名称 普通教室棟  
構造 改修工事のため適用しない  
建築面積  
延べ面積 改修工事のため適用しない  
工事項目 緑ヶ丘中学校便所改修工事（建築工事、機械設備工事）  
III. 建築改修工事仕様  
1 共通仕様  
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改標仕」という。）による。  
2 特記仕様  
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																					
一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	① 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版） ② 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版） ③ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時～時 既成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 工事着手は住民説明会開催（請負者も出席のこと）後とする。 ・ 施行については、学校運営に支障が無いよう検討すること。 ・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分（ ） 時期（平成 年 月 日～）																					
	② 施工条件 (1.3.5)	① 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時～時 既成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 工事着手は住民説明会開催（請負者も出席のこと）後とする。 ・ 施行については、学校運営に支障が無いよう検討すること。 ・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分（ ） 時期（平成 年 月 日～）																					
	③ 部分引渡し、 部分使用	・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり																					
	④ 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり																					
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.8)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化工事の実施について適正な措置を講ずることとする。 ・ 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法 <table border="1"><thead><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>造成等</td><td>・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 (備品等)</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr></tbody></table> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 引き渡しを要するもの<ul style="list-style-type: none"><li>○ なし ・ 金属類 ・ PCB（含有機器・シーリング）</li><li>・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） 処理方法（ ）</li><li>・ 現場において再利用を図るもの（ ）</li></ul></li><li>○ 再資源化を図るもの<ul style="list-style-type: none"><li>○ アスファルトコンクリート塊</li><li>○ セメントコンクリート塊</li><li>○ 建設発生木材</li></ul></li><li>○ 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。</li><li>○ 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。その他関係法令によるほか、（マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。E票は写しを提出すること。）</li><li>・ 成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。 含有が判明した等の場合、(9.1.5)に従い処理する。（ダクト・保温材等含む）</li></ul> 再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金が500万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJACIGが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時には実績報告を行うこと。	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	その他 (備品等)	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
	造成等	・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	その他 (備品等)	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	⑥ 建設副産物情報 交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金が500万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJACIGが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時には実績報告を行うこと。																					
	⑦ 三重県産業 廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を送付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。																					
	⑧ 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																					
	⑨ 技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。																					
	⑩ 施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による																					
	⑪ 調査のための 破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																					

- ⑫ 建築材料等
- ⑬ 化学物質の濃度測定  
(1.6.9)

- 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。  
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。  
3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。  
4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。  
5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。  
6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。  
(認定製品の品名： )  
7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。  
(認定製品の品名： ・ 間伐材製工用バリケード・看板・掲示板・ガードフェンス・石こうボード ・ )

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	ナチルベンゼン	ステレン	オラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●			●	●	

測定対象室及び測定箇所数  
・ 空き部屋1戸にて実施（測定対象室は、協議の上決定とする） ・ 図示（図面番号： ）  
測定方法（ ・ パンツ法 ・ アクティブ法）  
報告書提出部数 2部

公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。  
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真真摺影表額（国土交通省大臣官房官庁営繕部（平成24年版））に従い撮影する。  
（提出部数 ○ 1部 ・ 部）

作成する（○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ））  
完成図作成範囲  
（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上等全て）  
完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。  
完成図はCADデーターも提出すること。

デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部  
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。  
○ アルバム 1部  
（大きさ335mm×290mm程度、カラー）  
工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。  
（提出部数 ・ 2部 ・ 部）  
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。  
（提出部数 ・ 2部 ・ 部）

施工範囲  
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強  
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強  
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強  
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ  
施工図  
・ 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならぬ補修する。

既存部分への  
処置 (1.3.12)  
② 事故報告  
③ 県内企業優先

24 総合評価方式  
④ 不当介入を  
受けた場合  
の措置

26 消防提出書類  
⑤ 主任技術者又は  
監理技術者の  
専任を要し  
ない期間

⑥ 工事の一時中  
止に係る計画  
の作成

⑦ 労働安全衛生  
法に基づく労働  
災害防止措置

⑧ 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。  
この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。  
検査終了後の期間  
検査完成後、検査が終了（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。  
契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。  
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。  
工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

- ⑧ 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重
- ⑨ 火災保険等
- ⑩ 不正軽油の使用の禁止
- ⑪ 学校との調整

## 仮設工事

- ① 足場 (2.2.1) (表2.2.1)  
② 既存部分の養生 (2.3.1)  
③ 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)  
④ 監督員事務所 (2.4.1)  
⑤ 監督員事務所の備品等 (2.4.1) (b)  
⑥ 仮設便所  
⑦ 工事用水  
⑧ 工事用電力  
⑨ 交通誘導員

## 防水改修工事

- 1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)～(表3.3.10)  
(3.3.2) (h)  
(3.3.3) (b) (2) (3.3.3) (c)  
① 工法 種別 施工箇所  
・ PIB ・ B-1 ・ B-2  
・ PIE ・ E-1 ・ E-2  
○ 室内防水 ○ RA-100 普通教室棟、3階、2階、1階女子便所床  
○ 日本アス防水協結仕様（室内防水）  
改質アスファルトルーフィングシート  
種類 ・ （ ） ・ (表3.3.3)～(表3.3.9)による  
厚さ ・ （ ） ・ (表3.3.3)～(表3.3.9)による  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート  
種類 ・ （ ） ・ (表3.3.3)～(表3.3.9)による  
厚さ ・ （ ） ・ (表3.3.3)～(表3.3.9)による  
断熱工法の断熱材（PIB1、P2A1、T1B1、P0D1、M3D1、M4D1）  
材質 ・ （ ）  
・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり)  
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号  
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号  
厚さ ・ （ ）  
ルーフレッドン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示（図面番号： ）  
脱気装置（M3D、P0D、P0D1、M3D1、M4D1）  
・ 設ける（設置数量 ・ 図示（図面番号： ）、材質（ ））  
・ 設けない

工事名	A-01
改修工事特記仕様書	1

3.3.5	・仕上塗料 種類 ( ) 使用量 ( ) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・水下80mm以上 ( ) 床タイル張り ・水下60mm以上 ( ) 保護層 ・設ける ・設けない 屋上排水溝の適用 ・適用する 立上り保護 ・乾式保護材 ( ) ・れんが (材種 ・JIS R1250)																			
		<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ M4AS</td> <td>・ AS-T1 ・ AS-T2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ AS-J3</td> <td></td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2			・ AS-J3										
工法	種別	施工箇所																		
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2																			
	・ AS-J3																			
2	改質アスファルトシート防水 (3.4.3) (表3.4.1)~ (表3.4.3) (3.4.3)(2)(3)	改質アスファルトシート 種類 ( ) (表3.4.1)~(表3.4.3)による 厚さ ( ) (表3.4.1)~(表3.4.3)による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ( ) (表3.4.1)~(表3.4.3)による 厚さ ( ) (表3.4.1)~(表3.4.3)による 断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1) 材質 ( ) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 厚さ ( ) 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・図示 (図面番号: )、材質 ( )) ・ 設けない																		
3	合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3) (表3.5.1) (表3.5.2) (3.5.2)(b) (3.5.3)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ S3S</td> <td>・ S-F1 (S1-F1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3SI</td> <td>・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> </tr> </table> ルーフィングシート 種類 ( ) (表3.5.1)及び(表3.5.2)による 厚さ ( ) (表3.5.1)及び(表3.5.2)による 断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質 ( ) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種2号 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの 厚さ ( ) 絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・図示 (図面番号: )、材質 ( )) ・ 設けない 既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・図示 (図面番号: ) 増張り ・図示 (図面番号: )	工法	種別	施工箇所	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)		・ S3SI	・ S-F2 (S1-F2)										
工法	種別	施工箇所																		
・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)																			
・ S3SI	・ S-F2 (S1-F2)																			
4	塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(a) (3.6.3)(b)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ POX</td> <td rowspan="2">・ X-1 ・ X-2</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ L4X</td> </tr> </table> 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・図示 (図面番号: )、材質 ( )) ・ 設けない	工法	種別	施工箇所	・ POX	・ X-1 ・ X-2		・ L4X											
工法	種別	施工箇所																		
・ POX	・ X-1 ・ X-2																			
・ L4X																				
5	既存防水層表面の仕上塗料の除去 (3.2.6)(a)(2) (3.2.6)(a)(6)	(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない																		
6	FRP防水	・ FRP防水																		
7	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td>かぶり廻り</td> </tr> <tr> <td>・ SR-2</td> <td>シリコーン系</td> <td>金物廻り</td> </tr> <tr> <td>・ MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>建具周囲</td> </tr> <tr> <td>・ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PU-2</td> <td>ポリアウレタン系</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材種	施工箇所	・ SR-1	シリコーン系	かぶり廻り	・ SR-2	シリコーン系	金物廻り	・ MS-2	変成シリコーン系	建具周囲	・ PS-2	ポリサルファイド系		・ PU-2	ポリアウレタン系	
種類	材種	施工箇所																		
・ SR-1	シリコーン系	かぶり廻り																		
・ SR-2	シリコーン系	金物廻り																		
・ MS-2	変成シリコーン系	建具周囲																		
・ PS-2	ポリサルファイド系																			
・ PU-2	ポリアウレタン系																			
3.7.4~7)		工法 ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 (拡幅幅 mm、拡幅深さ mm) ・ ブリッジ工法 (ボンドブレード幅 mm、エッジング材幅 mm) シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない																		
3.7.8)																				

8	とい (3.8.2)(表3.8.1)	材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (か-) ・ 工法 ・ 図示 (図面番号: )	配管用鋼管 (白管)																				
				9 アルミニウム製笠木 (3.9.2)(c) (表3.9.1) (3.9.3)(b) (3.9.2)(d) (表5.2.2)																			
4	外壁改修工事	1 施工数量調査	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 ( ) 調査項目 ・ ひび割れ部 ( ・ 幅0.2mm、 ・ 0.2mm~1.0mm、 ・ 1.0mm以上) ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 ( ・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																				
		2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンクリート打直し仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗料塗り ・ 厚付け仕上塗料塗り ・ 複層仕上塗料塗り ・ 可とう形改修用仕上塗料塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2">改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)</td> <td>         ・ 樹脂注入工法          種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法          注入量 (メーカー仕様による) 注入間隔 (200~300)          ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法          注入量 ( ) 注入口間隔 ( )          ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法          注入量 ( ) 注入口間隔 ( )       </td> <td>         材料          エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)          ・ 低粘度形 ・ 中粘度形          コア抜き検査 ・ 行う ・ 行わない          ・ 抜き取り回数 ( )          ・ 抜き取り部分補修方法 ( )       </td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンクリート打直し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入工法 ・ タイル張替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗料塗り ・ 厚付け仕上塗料塗り ・ 複層仕上塗料塗り ・ 可とう形改修用仕上塗料塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り	8	改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)
外壁	種類	改修工法																					
・ コンクリート打直し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法																					
	欠損部	・ 充填工法																					
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法																					
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																					
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入工法 ・ タイル張替え工法																					
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗料塗り ・ 厚付け仕上塗料塗り ・ 複層仕上塗料塗り ・ 可とう形改修用仕上塗料塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り																					
8	改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	・ 樹脂注入工法 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 (メーカー仕様による) 注入間隔 (200~300) ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( ) 注入口間隔 ( ) ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( ) 注入口間隔 ( )	材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜き検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 抜き取り回数 ( ) ・ 抜き取り部分補修方法 ( )																				

4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)	・ Uカットシーリング材充填工法 材料 ・ シーリング材 ( ) ・ シーリング材 ( ) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない																																
		4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7)																															
4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8)	・ シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂																																
4.2.2)(e) (4.4.10) (4.4.11)	・ 充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル																																
4.2.2)(f) (4.4.12) (4.4.2)	・ モルタル塗替え工法 材料 ・ 既製目地の適用及び形状 ( ) 仕上げ厚 ( )																																
4.2.2)(g) (4.5.9)	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン (SUS)																																
4.2.2)(h) (4.4.13) (4.4.14)	・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ( )																																
4.2.2)(i) (4.4.15) (4.4.4)	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ アンカーピン ( )																																
4.2.2)(j) (4.4.16) (4.4.17)	・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの配置 ・ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン ( )																																
4.2.2)(k) (4.4.18) (4.4.19)	・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ 注入口付アンカーピン ( )																																
4.2.2)(l) (4.4.20) (4.4.21)	・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 材料 ・ ポリマーセメントスラリー ( ) ・ 注入口付アンカーピン ( )																																
4.2.2)(m) (4.4.22) (4.4.23)	・ タイル部分張替え工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂																																
4.2.2)(n) (4.4.24) (4.4.25)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法</th> <th>工法</th> <th>区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>耐薬品性</th> <th>特注色</th> <th>耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類(磁器)</td> <td>II類(せつ器)</td> <td>III類(陶器)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	区分	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無				I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																	
施工箇所	形状寸法	工法	区分	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無																									
			I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																												
4.2.2)(o) (4.4.26) (4.4.27)	・ 脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・図示 (図面番号: )、材質 ( )) ・ 設けない																																
4.2.2)(p) (4.4.28) (表4.5.3)	・ タイル張替え工法 <table border="1"> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>タイルの大きさ</th> <th>工法</th> <th>塗り厚(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 外装 タイル</td> <td rowspan="2">小口以上二丁掛け以下</td> <td>・ 密着張り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・ 改良積み上げ張り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ユニットタイル</td> <td rowspan="2">・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満</td> <td>・ 改良圧着張り</td> <td>下地側 4~6 タイル側 3~4</td> </tr> <tr> <td>・ マスク張り</td> <td>3~4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ モザイクタイル貼り</td> <td>3~5</td> </tr> </table>	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)	・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8	・ 改良積み上げ張り	4~7	・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4	・ マスク張り	3~4			・ モザイクタイル貼り	3~5												
タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)																														
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8																														
		・ 改良積み上げ張り	4~7																														
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4																														
		・ マスク張り	3~4																														
		・ モザイクタイル貼り	3~5																														
4.2.2)(q) (4.4.29) (表4.5.4)	・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの配置 (本ノミ) ・ 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地 位置 寸法 ( ) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う ( ・ 簡易接着性試験 ・ 行わない)																																
4.2.2)(r) (4.4.30) (表4.2.4(その1) (その2))	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ひき起し</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ひき起し</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ ひき起し</td> <td></td> </tr> </table>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け	・ 平たん状	こて	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 砂壁状	ローラー	・ 平たん状	こて			・ 凹凸状	ローラー			・ ひき起し				・ ひき起し				・ ひき起し	
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																														
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け																														
		・ 平たん状	こて																														
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 砂壁状	ローラー																														
		・ 平たん状	こて																														
		・ 凹凸状	ローラー																														
		・ ひき起し																															
		・ ひき起し																															
		・ ひき起し																															

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法
複層仕上 塗材	・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 R E	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理	吹付け
		・ 凸凹模様	吹付け
可とう形 改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 R E ・ 可とう形改修塗材 C E	・ 平たん状	ローラー
		・ さざ波状	
		・ ゆず肌状	吹付け

・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合  
材所要量 ( kg/m<sup>2</sup> )

・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種  
仕上材塗り ( )

(4.6.6)  
(表4.6.7)

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水 系	・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
・ ポリウレタン系	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 水 系	・ 艶有 ・ 艶無

(注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜剥離工法	
・ 水洗い工法	10~15Mpa
・ テッキブラシ	外壁・外部モルタル巾木・屋根庇・バルコニー見付
・ 高圧ポンプ	軒天(バルコニー・階段・庇) ベランダ床面・排水溝立上り・階段床

(4.6.4)

下地調整  
・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ( )

(表5.2.2)

7 網戸 (5.2.3) (e)

8 樹脂製建具 (5.3.2) (表5.3.1) (表5.3.2) (表5.3.3) (5.3.3) (5.3.4) (5.3.5)

9 鋼製建具

10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3) (a) (5.2.3) (a)

11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2) (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)

12 建具用金物 (5.7.2) (5.7.4)

13 自動ドア開閉装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3) (f)

14 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)

15 重量シャッター (5.10.2) (5.10.2) (c) (表5.10.1) (5.10.2) (f)

16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)

17 オーバーヘッドドア (5.12.2) (5.12.3)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別  
・ 外部に面する建具  
・ B-1 ・ B-2 ・ ( )  
・ 内部に面する建具  
・ G-1 ・ G-2 ・ ( )

・ 可動式 ・ 固定式  
防虫網の材質  
・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製  
・ ステンレス(SUS316)製  
網目  
・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

性能等級等  
・ A種 ・ B種 ・ C種

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット (等級 )  
ガラス ・ 複層ガラス ・ ( )  
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号: )  
水切り ・ 図示 (図面番号: )  
ぜんば ・ 図示 (図面番号: )  
丁番 ・ (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号: )

鋼製建具の性能等級  
・ 簡易気密性ドアセット  
・ 外部に面する建具の耐風圧  
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )  
・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )  
JIS G 3317 ・ Y08 ・ ( )  
・ H2400又はW950の建具  
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: )

鋼製軽量建具の性能等級  
・ 簡易気密性ドアセット  
・ 外部に面する建具の耐風圧  
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )  
・ H2400又はW950の建具  
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: )

表面仕上げ  
・ 塗装  
・ ビニル被覆鋼板  
・ カラー鋼板  
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)

ステンレス製建具の性能等級  
・ 簡易気密性ドアセット  
・ 外部に面する建具の耐風圧  
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )

材料 ・ SUS304 ・ ( )

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( )

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

金物の見え掛かり部等の材質等  
・ (表5.7.1)による  
・ 図示 (図面番号: )

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない  
引選用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

開閉装置の性能値  
・ 図示 (図面番号: A-59 )

センサーの種類  
・ 図示 (図面番号: A-59 ) ・ ( )

凍結防止措置 ・ あり ・ なし

自閉式上吊り引戸装置の性能値  
・ (表5.9.1)による ・ ( )

種類  
・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター  
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター  
耐風圧強度 ( Pa以上)

開閉機能  
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式

一般重量シャッターのシャッターケース  
・ 設ける ・ 設けない  
・ 設ける ・ 設けない  
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )

開閉形式  
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式

耐風圧強度 ( Pa以上)

スラットの材質及び形状  
・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形  
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( )  
JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ( )

型式及び機構  
セクション材料  
・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ  
・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度 ( Pa以上)

18 ガラス材料、工法 (5.13.2) (a) (5.13.4)

19 ガラス留め材 (5.13.2) (b)

20 ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)

21 ガラスブロック積み (5.13.5)

22 トイレブース

開閉方式  
・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

収納形式  
・ スタンダード形 ・ ローヘッド形  
・ ハイリフト形 ・ パーチカル形

ガイドレール  
・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

板ガラス  
・ 図示 (図面番号: )

ガラス留め材  
・ シーリング ・ ガスケット ( )

・ 図示 (図面番号: )  
・ (表5.13.1) による

ガラスブロック  
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: )  
金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: )  
化粧カバー ・ 図示 (図面番号: )  
工法  
・ 図示 (図面番号: )

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

表面仕上 ・ メラミン樹脂系化粧板  
○ ポリエステル樹脂系化粧板

幅木 ・ 有り (ステンレス製) ・ 無し ( 支柱)

扉小口の材質 ・ ステンレス製 ○ アルミ製

① 一般事項 (6.1.3) (b)

(6.1.3) (c)

(6.1.3) (f)

② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2) (a) (1) (6.2.2) (a) (2) (6.2.2) (c)

3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)

4 木下地等 (6.5.1) (c) (表6.5.1) (6.5.2) (a) (1) (表6.5.2)

(6.5.2) (b) (1)

(6.5.2) (b) (2) (iv)

(6.5.2) (c) (i) (6.5.2) (b) (ii)

既存開仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改 修 範 囲
○ 天井	○ 図示 (図面番号: )
○ 壁	○ 図示 (図面番号: )
○ 床	○ 図示 (図面番号: )

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲  
・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修  
○ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

既存床仕上げ材の除去等  
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去  
○ 行う CM-2 下地調整 ・ 行わない

合成樹脂塗料系床材の除去等  
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲  
○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲  
・ ( )

既存開仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法  
・ ( ポリマーセメントモルタル )

表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

製材  
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	

「製材の日本農林規格」以外の製材  
樹種 寸法 防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号: )  
造作材の材質 ・ A種 ・ ( )

樹種	部位	樹種	量産材

代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない

造作用集成材  
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示 (図面番号: )		

⑤ 建具改修工事

1 改修工法 (5.1.3)  
・ かぶせ工法  
・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

2 防火戸 (5.1.4)  
・ 撤去工法  
・ はつり工法 ・ 引抜き工法

3 見本の製作 (5.1.5)  
・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号 )  
・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号: )

4 防犯建物部品 (5.1.7)  
・ 製作する ・ 製作しない

5 ブラインドカーテンボックス等 (5.1.6) (c)  
・ 図示 (図面番号: )

6 アルミニウム製建具 (5.2.2) (表5.2.1)  
性能等級等  
・ A種 ・ B種 ・ C種  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )  
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号: )

工事名 緑ヶ丘中学校便所改修工事

図面名 改修工事特記仕様書 3

図面番号 A-03

<p>(6.5.2)(c)(ii)</p> <p>(6.5.2)(d)(i)</p> <p>(6.5.2)(d)(ii)</p> <p>(6.5.2)(e)</p> <p>(6.5.5)(a)</p> <p>(6.5.5)(b)</p> <p>⑤軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)</p> <p>(6.6.4)</p> <p>6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.2) (6.6.4)(a)(1)</p> <p>7 ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(a) (6.8.2)(b)</p> <p>(6.8.2)(c)(1)</p> <p>(6.8.2)(c)(2)</p> <p>(6.8.2)(c)(3)</p> <p>(6.8.2)(c)(4)</p> <p>(6.8.2)(e)</p>	<p>「集材材の日本農林規格」以外の製材 樹種 寸法 見付け材面の品質及び厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 15%以下 ・ ( )</p> <p>造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>厚さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ 表面の品質 防虫処理 ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 14%以下 ・ ( )</p> <p>・ 床張り用合板等</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>ラワン合板</td> <td></td> <td>1類</td> <td>2級</td> <td>C-D</td> <td>F4</td> <td>9,12,15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 防霉、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号: ) 保存処理性能区分 ( ) 薬剤の塗布等の処理方法 ( ) ボード原料接着剤への防霉・防蟻処理 ( )</p> <p>・ 防虫処理 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>野縁等の種類 ○ 屋内 ○ 19形 ・ ( ) ○ 屋外 ・ 25形 ・ ( )</p> <p>形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号: ) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ふところ≧1.5m (6.6.4)(h) ・ 図示 (図面番号: ) ・ ふところ&gt;3m ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない 既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う (図示 (図面番号: ) ) ・ 行わない 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>スタッド、ランナーなどの種類 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>材料 ・ ビニル床シート 【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>マープル</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ビニル床タイル 【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>半硬質ビニル床タイル</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 帯電防止床シート、床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>300×300×7.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 防滑性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>PF</td> <td>マープル</td> <td>2.5mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ゴム床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	部位	厚さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )		部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ	ラワン合板		1類	2級	C-D	F4	9,12,15															種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	マープル	2.0mm										種類	厚さ	備考	半硬質ビニル床タイル	2.0mm								種類	性能	厚さ	備考													種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm								種類	性能	厚さ	備考													種類	性能	厚さ	備考	PF	マープル	2.5mm										種類	厚さ	備考										<p>(6.8.3)(a)</p> <p>(6.8.3)(b)</p> <p>8 カーペット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)</p> <p>(6.9.3)(b) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.3)(c)</p> <p>(6.9.3)(d) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.3)(e) (6.9.3)</p> <p>(6.9.4)(e)</p> <p>9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (表6.10.4)~ (表6.10.8)</p> <p>10 フローリング張り (6.11.6) (表6.11.6)</p> <p>(6.11.4) (表6.11.2)</p> <p>(6.11.5) (表6.11.3) (表6.11.5) (表6.11.6)</p> <p>(6.11.7)(2)</p> <p>(6.12.2) (表6.12.1)</p> <p>⑬ セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)</p> <p>(6.13.2)(h)</p> <p>工法 下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 ( )</p> <p>ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットバイル ・ ループバイル ・ レベルルーフバイル、ループ併用</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )</td> <td>・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>・ ニードルパンチカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ カットバイル ・ ループバイル</td> <td>・ 500×500 ・ ( )</td> <td>・ 6.5 ・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ( ) 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 ・ 図示 (図面番号: ) )</p> <p>敷き方</p> <table border="1"> <tr> <th>平場</th> <th>階段部分</th> </tr> <tr> <td>・ 市松敷き ・ 襜褸流し ・ ( )</td> <td>・ 市松敷き ・ 襜褸流し ・ ( )</td> </tr> </table> <p>弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ (平滑・防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防滑) ・ 防滑仕上げ</p> <p>・ モルタル埋込み工法 フローリングブロック(単位:mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ なら</td> <td>12・15</td> <td>303×303</td> <td>辺材部分には、防虫処理を行う</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 釘留め工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>種 別</th> <th>樹 種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根本張用)</td> <td></td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根本張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>防湿処理 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ</th> <th>大 き さ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td rowspan="4">・ なら ・ ( )</td> <td rowspan="4">12/15</td> <td rowspan="4">/</td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング (直張用)</td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング (直張用)</td> <td>・ C種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モザイクカーペット (直張用)</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table> <p>緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ ( )</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種(建材量K T-Ⅲ) ・ 工事終了後、日焼け防止の養生をすること</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ セッコウボード</td> <td>・ GB-R ・ GB-S</td> <td>壁 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質セッコウボード</td> <td>・ GB-NC</td> <td>天井 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧セッコウボード</td> <td>・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>・ 普通 ・ 立体模様</td> <td>・ 9 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>○けい酸カルシウム板</td> <td>○タイプⅡ0.8FK</td> <td>○6 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ ラワン合板</td> <td>・ 耐水Ⅰ種</td> <td>・ 12 (設備壁下地)</td> </tr> </table> <p>遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</p>	種別	バイル形状	帯電性	品質の程度	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ ( )	バイル形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットバイル ・ ループバイル ・ レベルルーフバイル、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ( )	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )		種類	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットバイル ・ ループバイル	・ 500×500 ・ ( )	・ 6.5 ・ ( )	・ ( )	平場	階段部分	・ 市松敷き ・ 襜褸流し ・ ( )	・ 市松敷き ・ 襜褸流し ・ ( )	樹種	厚さ	寸法	備考	・ なら	12・15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う	・ ( )				材 料	種 別	樹 種	・ フローリングボード (根本張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根本張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )	材 種	樹 種	厚 さ	大 き さ	・ フローリングボード (直張用)	・ なら ・ ( )	12/15	/	・ フローリングブロック (直張用)	・ 複合1種フローリング (直張用)	・ 複合2種フローリング (直張用)	・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種			・ モザイクカーペット (直張用)	・ ( )	・ ( )	・ ( )	材 種	種 別	厚 さ (mm)	・ セッコウボード	・ GB-R ・ GB-S	壁 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)	・ 硬質セッコウボード	・ GB-NC	天井 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)	・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 (不燃)	○けい酸カルシウム板	○タイプⅡ0.8FK	○6 (不燃)	・ ラワン合板	・ 耐水Ⅰ種	・ 12 (設備壁下地)	<p>(6.13.3)(e)(3)</p> <p>(6.13.3)(g)(1) (表6.13.5)</p> <p>13 壁紙張り (6.14.2)</p> <p>14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.6) (6.11.6)</p> <p>⑭ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)</p> <p>(6.16.3)(a)(3)</p> <p>(6.16.5)</p> <p>16 セルフレベリング 材塗り (6.17.2)</p> <p>17 断熱材 (9.5.2)</p> <p>(9.5.3)</p> <p>合板類の張付け ・ A種 ・ B種 セッコウボードの目地工法 ・ 縫目処理 ・ 突付け ○ 目透し</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>品質の程度</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>廊下壁</td> <td>A A級</td> <td>○不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td>便所壁</td> <td>A A級</td> <td>○不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table> <p>既製目地材 ・ 使用する (形状 )</p> <p>床の目地 ・ 図示 (図面番号: ) 緩衝材 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法</th> <th>工法</th> <th>用途による区分</th> <th>すべり抵抗性</th> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(セラミック)</th> <th>III類(陶器)</th> <th>うわすり</th> <th>役物</th> <th>耐薬品性</th> <th>特注色</th> <th>耐障害性有無</th> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>100角</td> <td>接着剤張</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>50角</td> <td>張付けモルタル</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>試験張り ・ 行う ○ 行わない 見本焼き ・ 行う ○ 行わない コンクリート素地面の目荒らし工法 ・ 行う</p> <p>・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚 ( ) mm</p> <p>断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ A種 1</td> <td rowspan="3">・ (15)</td> <td rowspan="3">・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならぬ箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種 2</td> </tr> <tr> <td>・ A種 3</td> </tr> </table> <p>⑦ 塗装改修工事</p> <p>① 材料 (7.1.3)(b)</p> <p>2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)</p> <p>○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 )</p> <p>既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてRB種の場合) ○ 図示 (図面番号: )</p> <p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ RA種 ○ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント版面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ セッコウボード、その他ボード面</td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (表7.3.1) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4)</p> <p>錆止め塗料種別 ・ 鉄鋼面 屋外 A種 屋内 ・ A種 ・ B種</p> <p>・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>塗料種別 ・ 1種 ・ ( )</p> <p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>種別 木部 ・ A種 ・ B種</p> <p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>下 地</th> <th>適 用</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>(表7.6.1参照)</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面</td> <td>(表7.6.1参照)</td> </tr> </table> <p>4 合成樹脂調合 ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)</p> <p>5 クリヤラッカー 塗り(LL) (7.5.2) (表7.5.1)</p> <p>6 フタル酸樹脂 エナメル塗り(FE) (7.6.2)~(7.6.3)</p>	施 工 箇 所	品質の程度	防火性能	廊下壁	A A級	○不燃 ・ 準不燃	便所壁	A A級	○不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	I類(磁器)	II類(セラミック)	III類(陶器)	うわすり	役物	耐薬品性	特注色	耐障害性有無	壁	100角	接着剤張							○				床	50角	張付けモルタル			○								種 類	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ 硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム				種類	厚さ(mm)	施 工 箇 所	・ A種 1	・ (15)	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならぬ箇所	・ A種 2	・ A種 3	下 地	種 別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種		・ 鉄鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ モルタル、プaster面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント版面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		下 地	種 別	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	下 地	適 用	・ 木部	(表7.6.1参照)	・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)	<p>工事名 緑ヶ丘中学校便所改修工事</p> <p>図面番号 A-04</p> <p>改修工事特記仕様書 4</p>
部位	厚さ	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ラワン合板		1類	2級	C-D	F4	9,12,15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
FS	マープル	2.0mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
半硬質ビニル床タイル	2.0mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	性能	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	性能	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	性能	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
PF	マープル	2.5mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	厚さ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種別	バイル形状	帯電性	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
バイル形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ カットバイル ・ ループバイル ・ レベルルーフバイル、ループ併用		・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ カットバイル ・ ループバイル	・ 500×500 ・ ( )	・ 6.5 ・ ( )	・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
平場	階段部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 市松敷き ・ 襜褸流し ・ ( )	・ 市松敷き ・ 襜褸流し ・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹種	厚さ	寸法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ なら	12・15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材 料	種 別	樹 種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ フローリングボード (根本張用)		・ なら																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 複合フローリング (根本張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材 種	樹 種	厚 さ	大 き さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ フローリングボード (直張用)	・ なら ・ ( )	12/15	/																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ フローリングブロック (直張用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 複合1種フローリング (直張用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 複合2種フローリング (直張用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ モザイクカーペット (直張用)	・ ( )	・ ( )	・ ( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
材 種	種 別	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ セッコウボード	・ GB-R ・ GB-S	壁 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 硬質セッコウボード	・ GB-NC	天井 ・ 9.5(不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○けい酸カルシウム板	○タイプⅡ0.8FK	○6 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ラワン合板	・ 耐水Ⅰ種	・ 12 (設備壁下地)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施 工 箇 所	品質の程度	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
廊下壁	A A級	○不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
便所壁	A A級	○不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	I類(磁器)	II類(セラミック)	III類(陶器)	うわすり	役物	耐薬品性	特注色	耐障害性有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
壁	100角	接着剤張							○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
床	50角	張付けモルタル			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	種 別	厚 さ (mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ 硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ フェノールフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ A種 1	・ (15)	・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならぬ箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ A種 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ A種 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
下 地	種 別	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 木部	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鉄鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ モルタル、プaster面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ コンクリート、押出成形セメント版面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ セッコウボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下 地	種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下 地	適 用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 木部	(表7.6.1参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

7	アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD)	(7.7.2) (表7.7.1)
8	耐候性塗料塗り (DP)	(7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)
9	つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-C)	(7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)
10	合成樹脂エマル ジョンペイント塗り (EP)	(7.10.2) (表7.10.1)
11	合成樹脂エマル ジョン模様塗料塗り (EP-T)	(7.11.2) (表7.11.1)~ (表7.11.3)
12	ウレタン樹脂ワニス 塗り (UC)	(7.13.2) (表7.13.1)
13	ラッカーエナメル塗り (LE)	(7.13.2) (表7.13.1)
14	木材防汚塗り (OS)	(7.14.2)
15	木造保護塗料塗り (MP)	(7.15.2) (表7.15.1)

種別  
・ A種 ・ B種

上塗り等級  
・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (シリコン系)

下地	種別
鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

種別  
下地 種別

コンクリート、モルタル、 プaster、せつこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種

種別  
・ A種 ⊕ B種 ・ C種  
しみ止め ( )

種別  
・ A種 ・ B種 ・ C種

種別  
・ A種 ・ B種

種別  
・ A種 ・ B種

(表7.14.1参照)

種別  
・ A種 ・ B種

工事内容  
・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事  
・ 鉄骨ブレースの設置工事  
・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)  
・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)  
・ 柱補強工事 (連続繊維補強工法)  
・ 耐震スリット新設工事  
・ 免震改修・制震改修工事・その他・内部改修に伴う床スラブ補修  
工事種別  
・ 施工調査 (施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修)  
・ 撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去  
(下地の一部又は全てを含む)、構造体のはつり)  
・ 鉄筋工事  
・ あと施工アンカー工事  
・ コンクリート工事  
・ 鉄骨工事  
・ グラウト工事  
・ 連続繊維補強工事  
・ スリット新設工事  
・ 免震改修・制震改修工事

施工計画調査

項目	内容	記録事項等

施工数量調査

項目	内容	記録事項

既存仕上げ等の撤去  
(8.19.2)  
(8.20.2)  
(8.21.2)  
(8.22.2)

撤去の筋面  
・ 図示 (図面番号: A9~A13、A19~A50)  
・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、  
連続繊維に接する部分  
・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置  
本工事の範囲  
・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分  
・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。  
( )  
撤去範囲 ( ) 図示 (図面番号: )

既存構造体の撤去  
(8.19.2)(8.20.2)  
(8.21.2)(8.22.2)

既存構造体の撤去  
撤去範囲 ( ) 図示 (図面番号: A9~A13)  
はつりした鉄筋及び鉄骨の処置

(8.19.2)(8.20.2)  
(8.21.2)(8.22.2)

既存部分の処理

3 既存構造体  
コンクリートの  
表面目荒らし  
(8.19.3)(8.20.3)  
(8.21.3)

8の3  
耐震改修工事  
鉄筋工事

1 鉄筋 (8.2.1)  
(表8.2.1)

2 溶接金網 (8.2.2)

3 加工 (8.3.2)

4 鉄筋の継手及び  
定着 (8.3.4)

5 鉄筋のかぶり  
厚さ及び間隔 (8.3.5)

6 各部配筋

7 ガス圧接 (8.3.8)

8 現場打ち鉄筋コン  
クリートの増設工事及び  
鉄骨ブレースの設置  
工事等

9 鉄筋の機械式継手及び  
溶接継手 (8.4.2)  
(8.4.3)

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ・ ( ) ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲 より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号: A9~A13) ・ 全ての撤去部分 ・ ( ) ・ 適用なし	
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は 切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する 既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ( )	

はつりした鉄筋の処置  
・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。

はつりした鉄筋の処置  
・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。  
・ (さび止め)

既存構造体コンクリート面の表面目荒らし  
目荒らし範囲  
・ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面  
既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面  
・ 図示 (図面番号: A19~A50)

目荒らし程度  
・ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す  
・ 図示 (図面番号: )

材料(表8.2.1)による

種別	径 (mm)
・ SD295A	
・ SD345	
・ SD390	
・ ( )	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)

90°未満の折曲げの内法直径 ( ) 図示 (図面番号: )

重ね継手	径	部位
・ D1以下		
・ D19以上		

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ  
・ 8.3.4 (c) (1) による  
・ 図示 (図面番号: )

継手位置  
・ 各部配筋参考図による  
・ 図示 (図面番号: )

先組み工法等  
・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所にはつる

鉄筋の定着長さ  
・ (表8.3.4)による  
・ 図示 (図面番号: )  
帯筋組立の形  
・ 図示 (図面番号: )

軽量コンクリートで土に接する部分  
・ 無し  
・ 有り 適用箇所 ( )  
最小かぶり厚さ ( ) mm

耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等)  
・ 無し  
・ 有り 適用箇所 ( )  
最小かぶり厚さ ( ) mm  
・ 図示 (図面番号: A-40)

圧接完了後の試験  
超音波探傷試験  
・ 行う ・ 行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数、ピッチ	適用箇所
・ スパイラル	・ 鉄筋コンクリート用棒筋 R235	・ ( )	・ 6φ ・ 9φ	・ スパイラルの径 (mm) < > ・ スパイラルのピッチ (mm) < >	・ 図示 (図面番号: )
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用棒筋 295A (異形鉄筋)	・ ( )	・ 10	・ 壁内方向筋 < > ・ 壁面外方向筋 < >	

機械式継手  
種類 ( )  
工法 ( )  
品質の確認方法 ( )  
修正方法 ( )  
鉄筋相互のあき ( ) mm  
鉄筋相互のあき ( ) mm

溶接継手  
工法 ( )  
品質の確認方法 ( )  
修正方法 ( )  
鉄筋相互のあき ( ) mm  
鉄筋相互のあき ( ) mm

8の4  
耐震改修工事  
コンクリート工事

1 コンクリート  
の種別及び  
強度 (8.1.3)(8.1.4)

(8.8.1)  
(8.9.2)  
(表8.9.1)

2 構造体コン  
クリートの仕  
上り (8.1.4)(8.2.6)

3 コンクリ  
ートの材料 (8.2.5)  
(表8.2.3)

4 混和材料 (8.2.5)

5 調整管理  
強度 (8.2.5)  
(8.8.3)  
(8.10.2)

6 型枠 (8.2.7)(8.7.8)

7 層中コン  
クリート (8.10.2)  
(8.10.3)  
(8.10.4)

8 コン  
クリートの打  
込み工法等 (8.19.8)  
(8.21.5)

溶接継手  
工法 ( フレア溶接 )  
品質の確認方法 ( 10d以上 )  
修正方法 ( 再溶接 )  
鉄筋相互のあき ( 0 ) mm  
鉄筋相互のあき ( 0 ) mm

コンクリートの種別  
・ I種 ・ II種

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
・ 21		・ 2.3t/m <sup>3</sup> 程度	
・ ( )			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	種別	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランプ
・ 21	・ 1種 ・ 2種				
・ ( )					

常時土あるいは水に直接接する部分に  
・ 用いる ・ 用いない

合板せき板を用いる場合の打直し仕上りの種別  
・ A種 ・ B種 ・ C種

セメントの種類  
・ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種  
・ ( )  
・ 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種  
適用箇所 ( )

骨材  
アルカリシリカ反応性による区分  
・ AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制)  
・ A (安全と認められる骨材を使用)  
なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が  
変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、  
試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。

・ 特殊な骨材の使用  
・ フェロニッケルスラグ骨材  
・ 銅スラグ骨材  
・ 電気炉酸化スラグ骨材  
・ 再生骨材H

・ 混和剤  
混和剤の種類  
・ (8.2.5) (d) (1) による  
・ 図示 (図面番号: )

・ 混和材  
混和材の種類・使用方法・使用量  
・ (8.2.5) (d) (2) による  
・ 図示 (図面番号: )

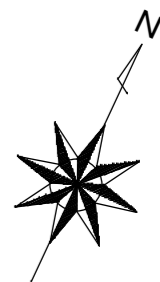
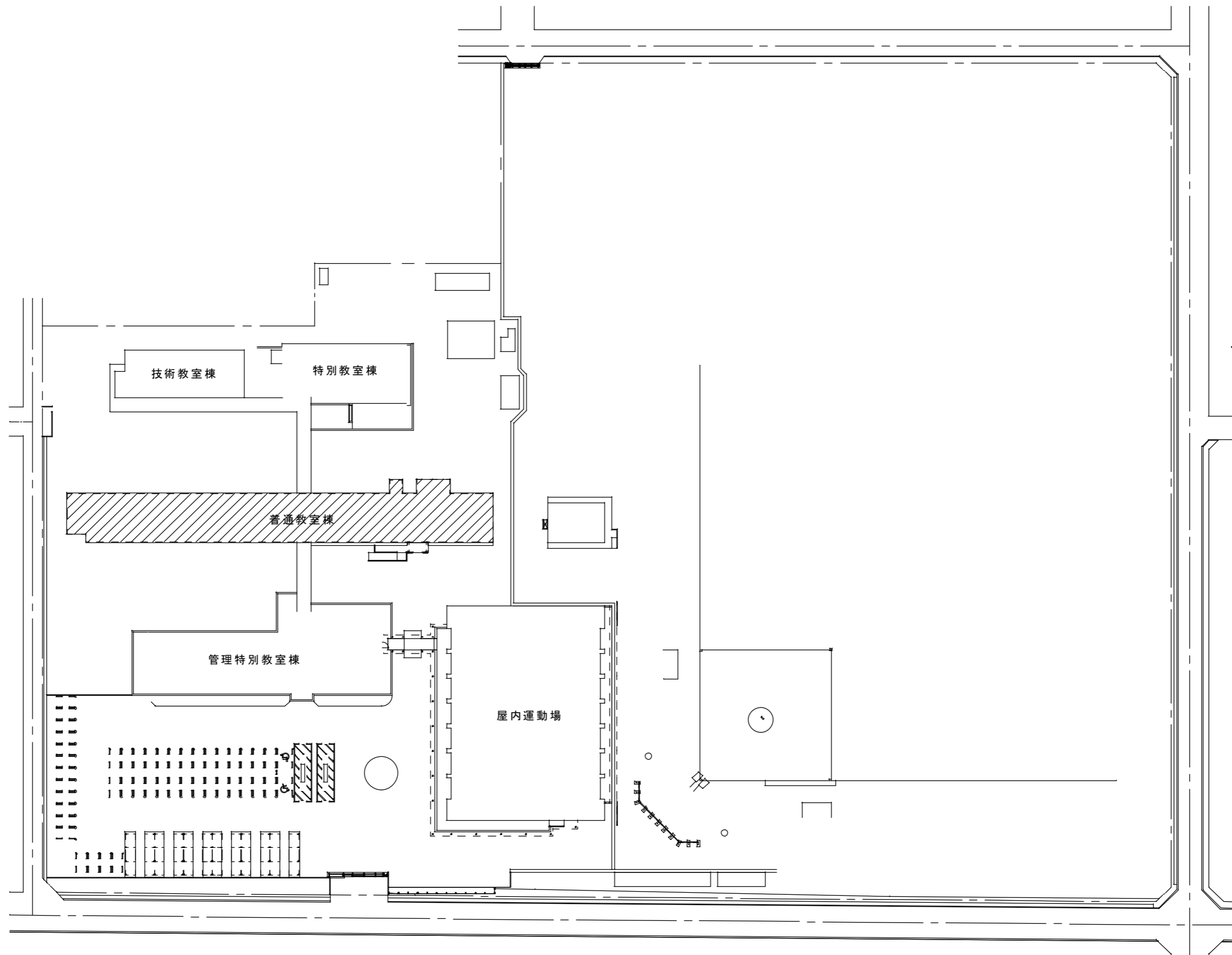
構造体強度補正值 (S)  
・ 3N/mm<sup>2</sup> ・ 6N/mm<sup>2</sup> ・ ( )

材料  
・ 複合合板 (厚さ・ 12mm ・ ( ) )  
打増し厚さ  
・ 図示 (図面番号: )  
スリーブ ・ (8.2.7) (f) (2) (i) による  
・ (8.2.7) (f) (2) (ii) による  
・ 材種 ( ) 規格 ( )

混和材料  
・ (8.10.2) (d) による  
・ 図示 (図面番号: )  
適用箇所 ( )  
型枠の存在期間  
・ 図示 (図面番号: )

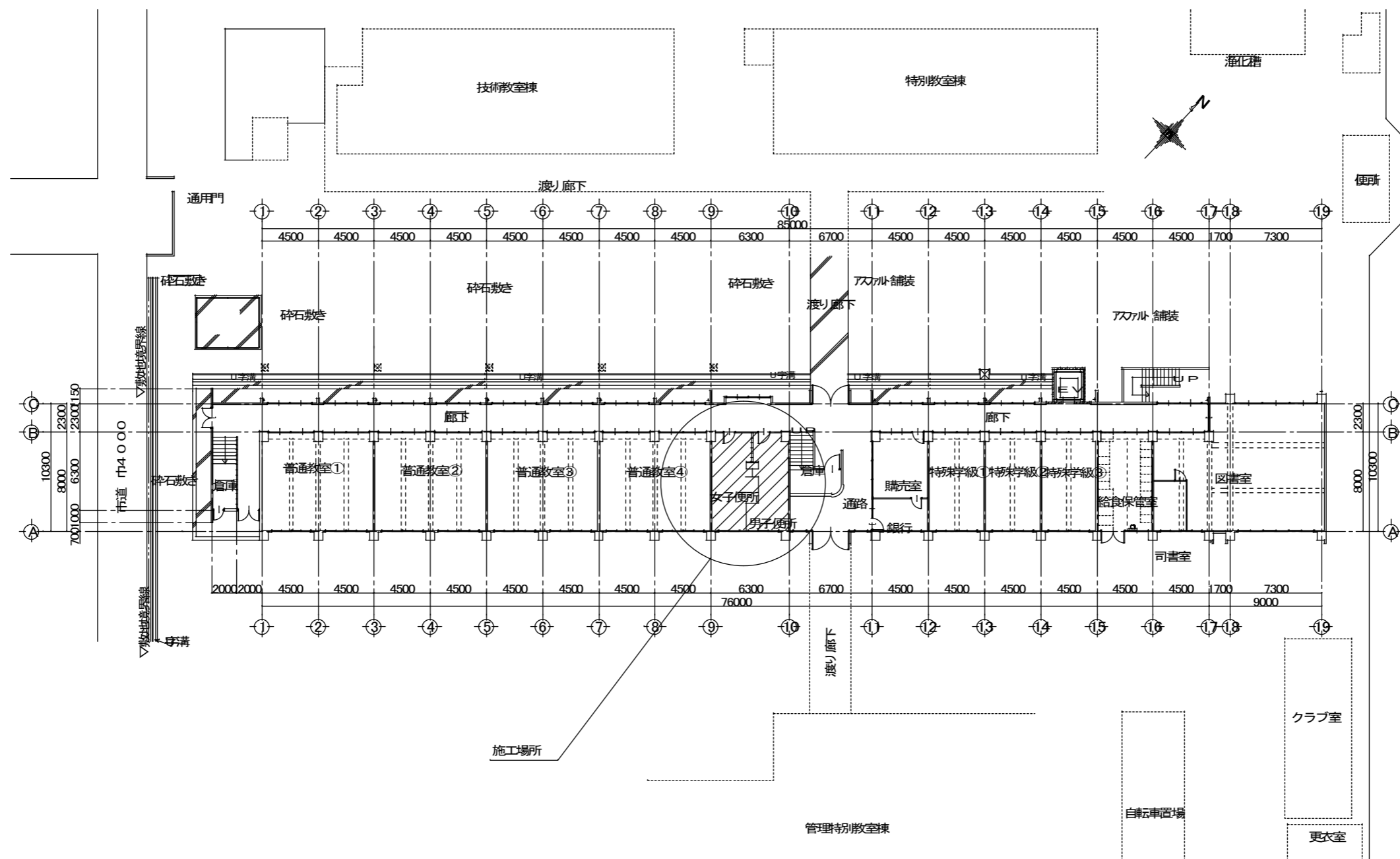
部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 (8.19.8) (a) (1) 及び (b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
	・ 圧入工法 (8.19.8) (a) (2) 及び (c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
	・ 流込み工法 (8.19.8) (a) (1) 及び (b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 圧入工法 (8.19.8) (a) (2) 及び (c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 (8.19.8) (a) (1) 及び (b)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
	・ 圧入工法 (8.19.8) (a) (2) 及び (c)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

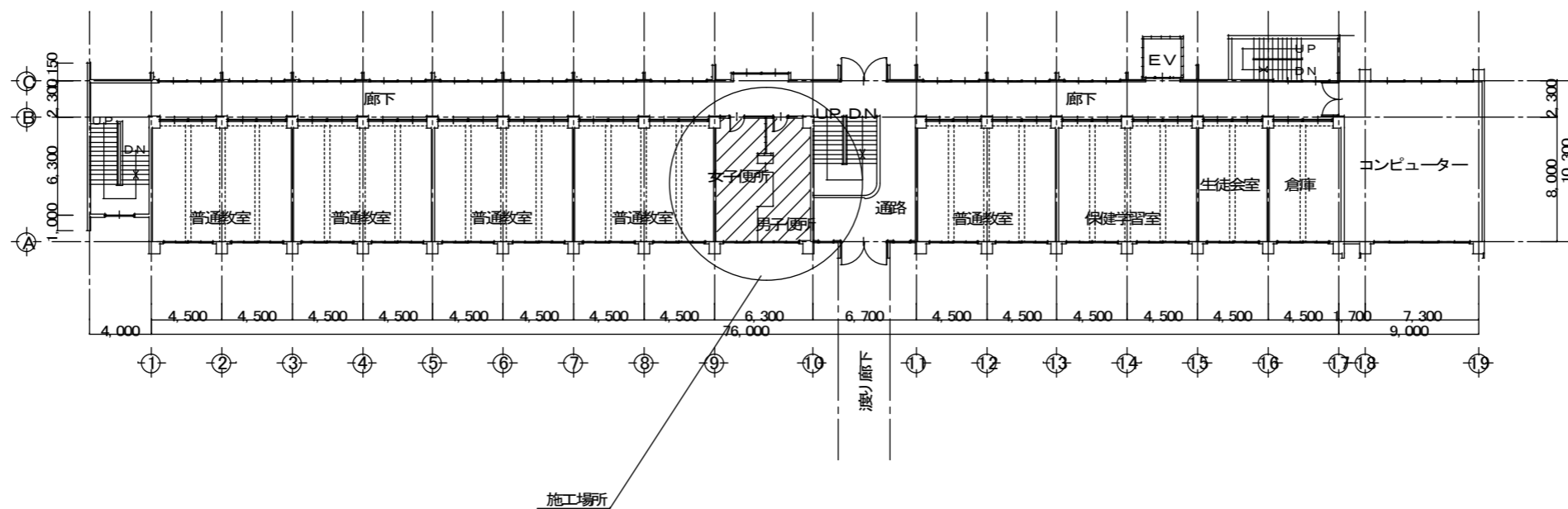


配置図

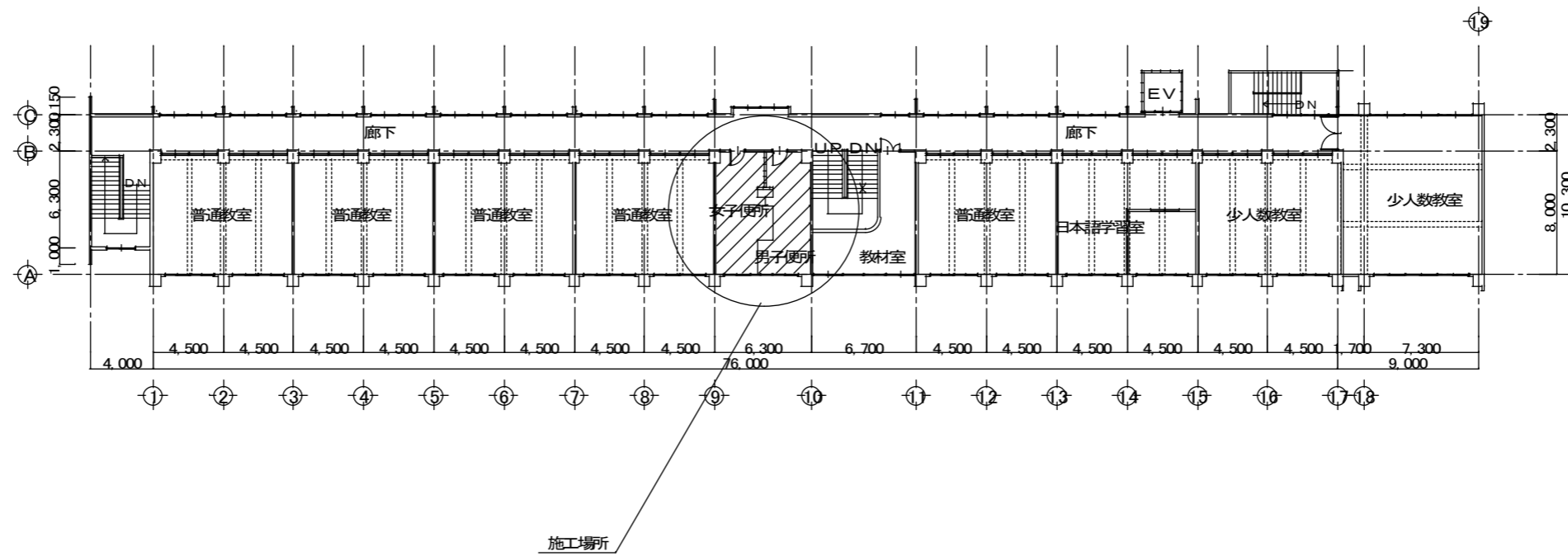




工事名	緑ヶ丘中学校便所改修工事	図面番号	A-07
図面名	普通教室棟 1階平面図	縮尺	1 : 400
日付			



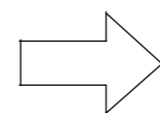
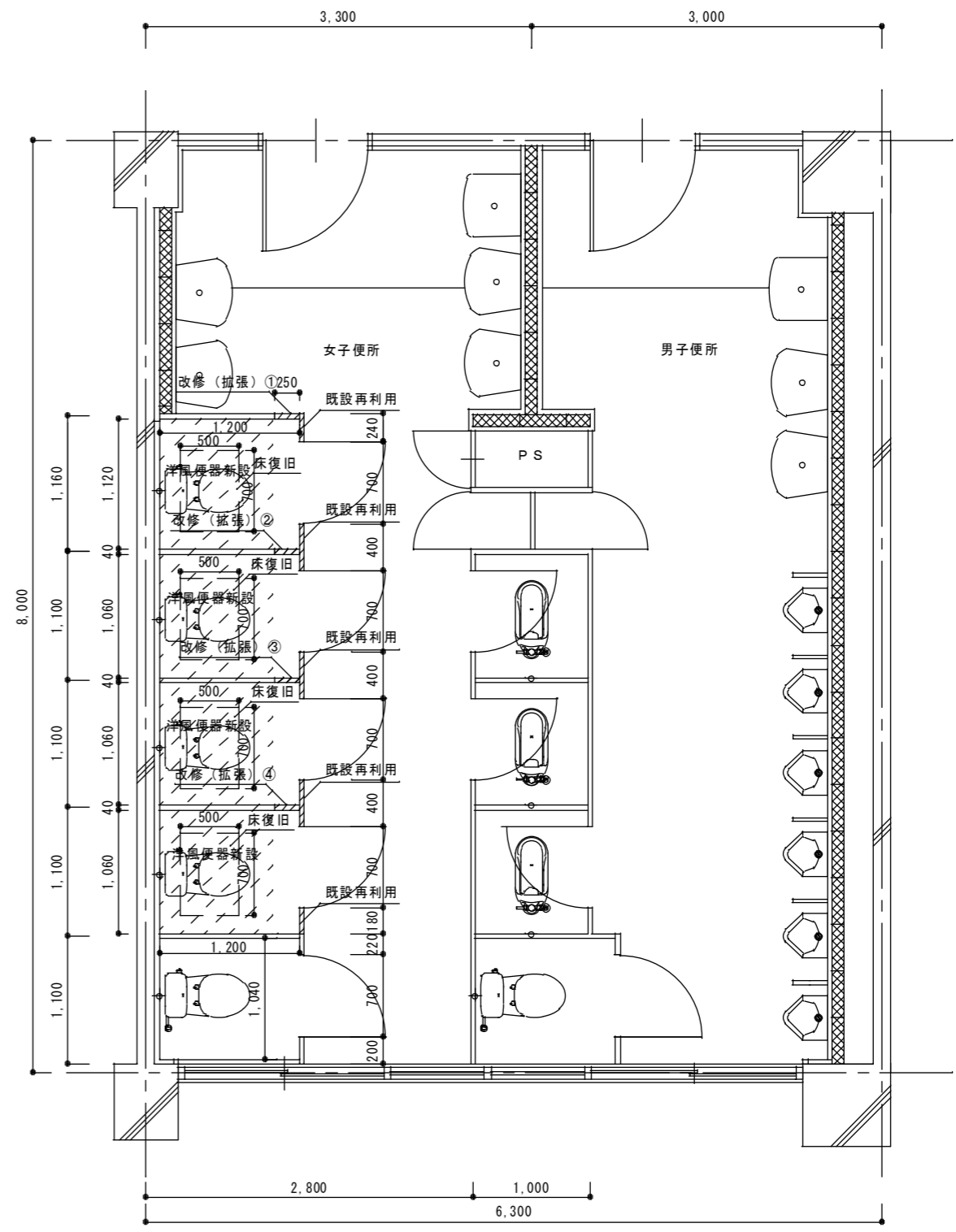
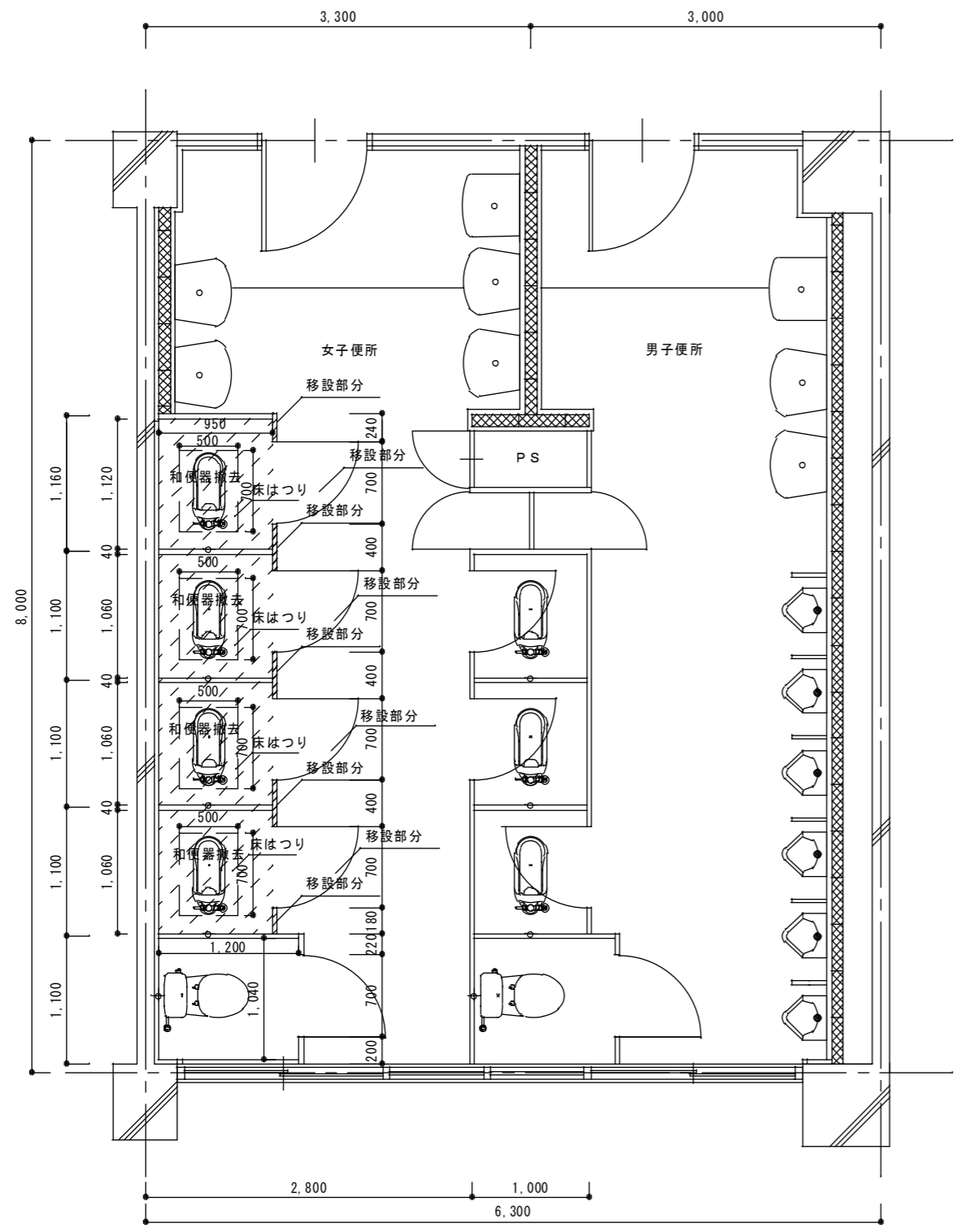
工事名	緑ヶ丘中学校便所改修工事	図面番号	A-08
図面名	普通教室棟 2階平面図	縮尺	1 : 400
		日付	



工事名	緑ヶ丘中学校便所改修工事	図面番号	A-09
図面名	普通教室棟 3階平面図	縮尺	1 : 400
		日付	

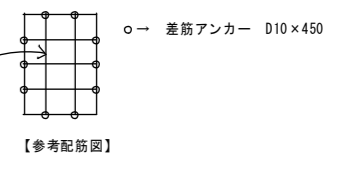
改修前

改修後



- 【床撤去】
- ・50角磁器モザイクタイル撤去
  - ・タイル下地モルタル撤去 t=30
  - ・防水押え軽量コンクリート t=50~70撤去
  - ・土間コンクリート t=150撤去
  - ・防水下地均しモルタル 撤去

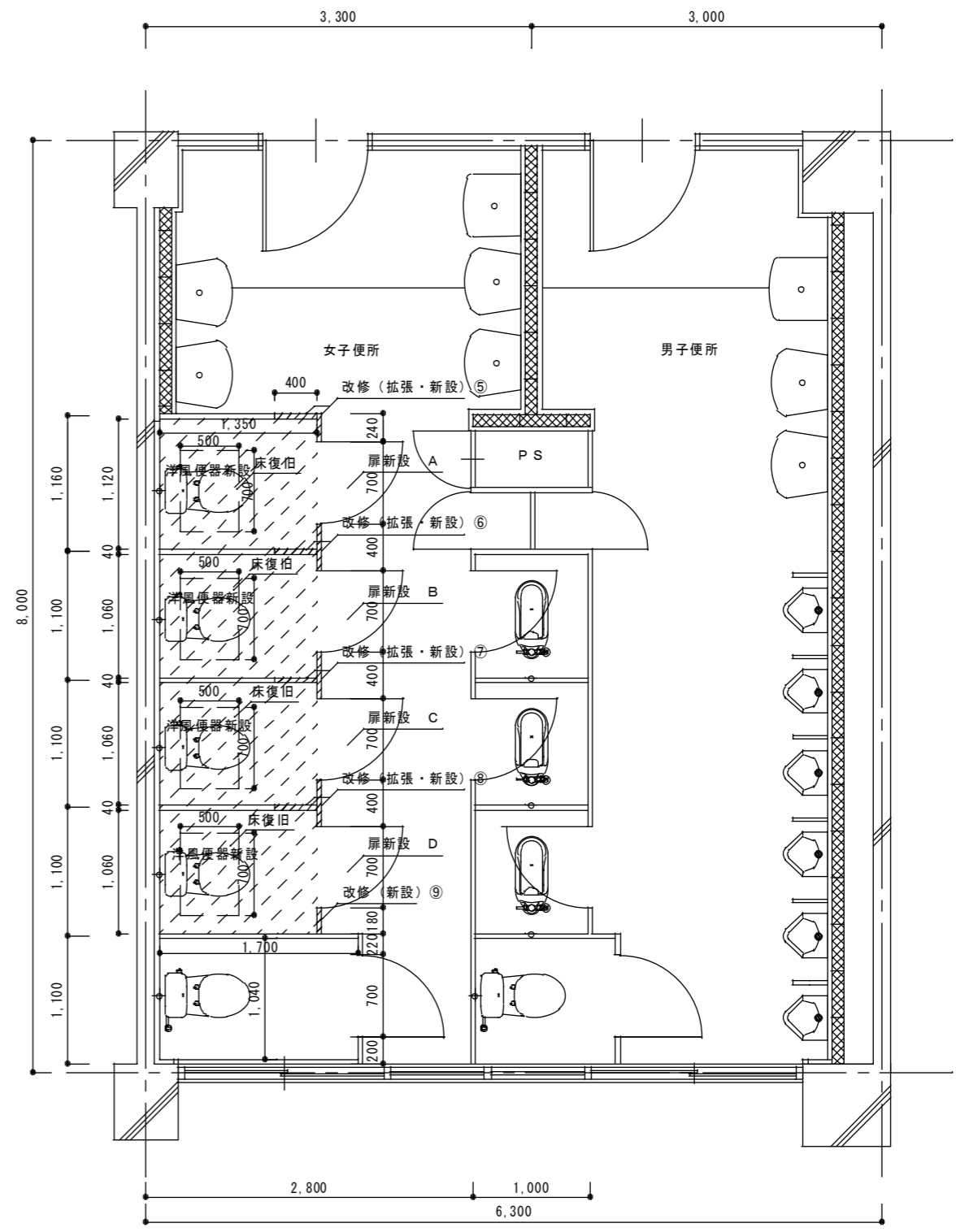
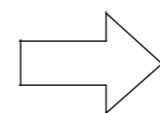
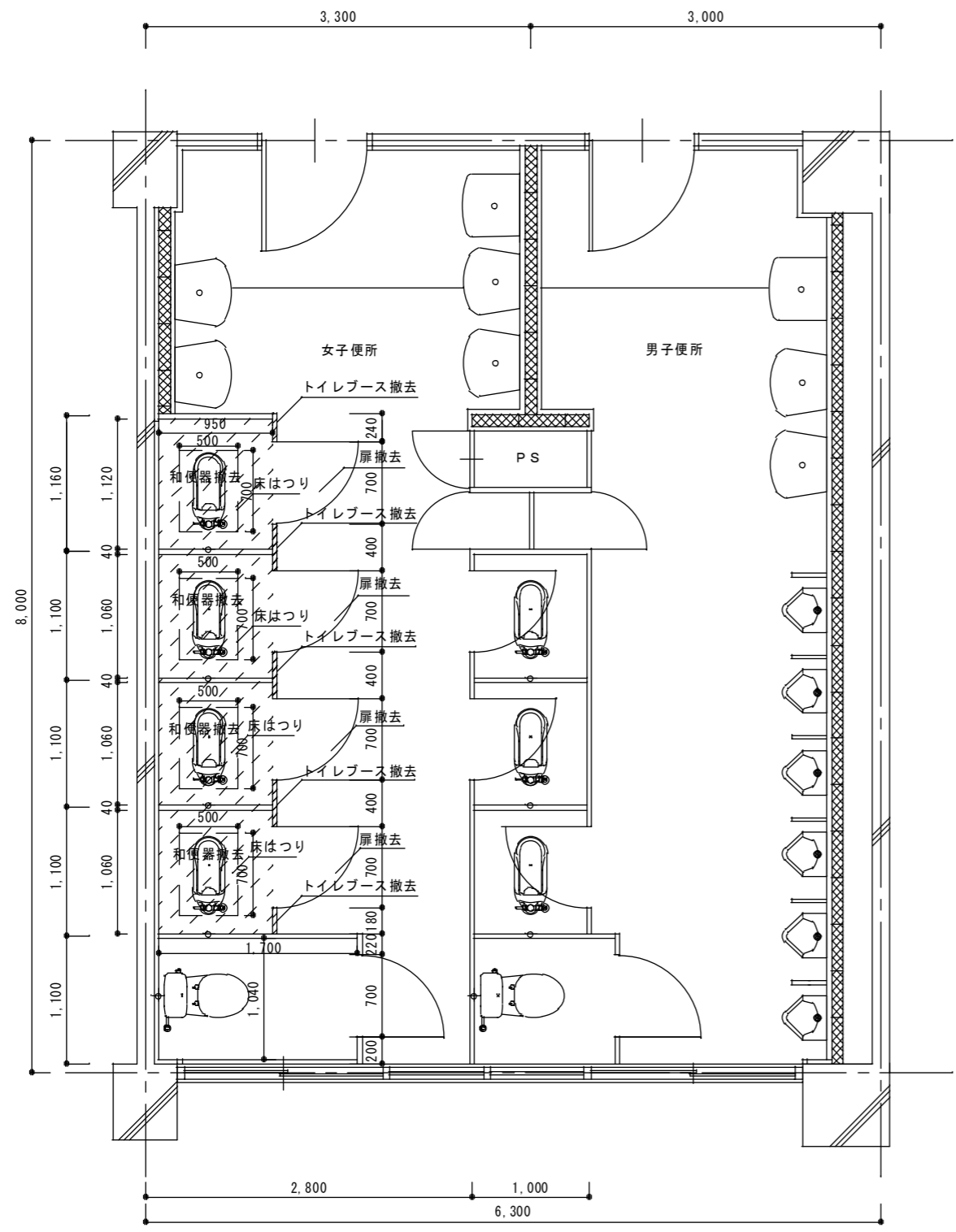
- 【床復旧】
- ・50角磁器モザイクタイル新設
  - ・タイル下地モルタル新設
  - ・土間コンクリート t=150 Fc=18新設
  - ・スラブ配筋タテヨコ共D10-@150SD295A 新設
  - ・差筋アンカー D10



凡例  
※ : 改修箇所

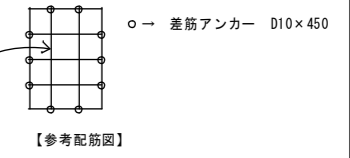
改修前

改修後



- 【床撤去】
- ・50°角磁器モザイクタイル撤去
  - ・タイル下地モルタル撤去 t=30
  - ・防水押え軽量コンクリート t=50~70撤去
  - ・アスファルト防水層 撤去
  - ・防水下地均しモルタル 撤去

- 【床復旧】
- ・50°角磁器モザイクタイル新設
  - ・タイル下地モルタル新設
  - ・防水押えコンクリート t=50~70 Fc=18新設
  - ・アスファルト防水層新設
  - ・防水下地均しモルタル新設
  - ・スラブコンクリート t=150 Fc=21新設
  - ・スラブ配筋タテヨコ共D10-@150SD295A 新設
  - ・差筋アンカー D10

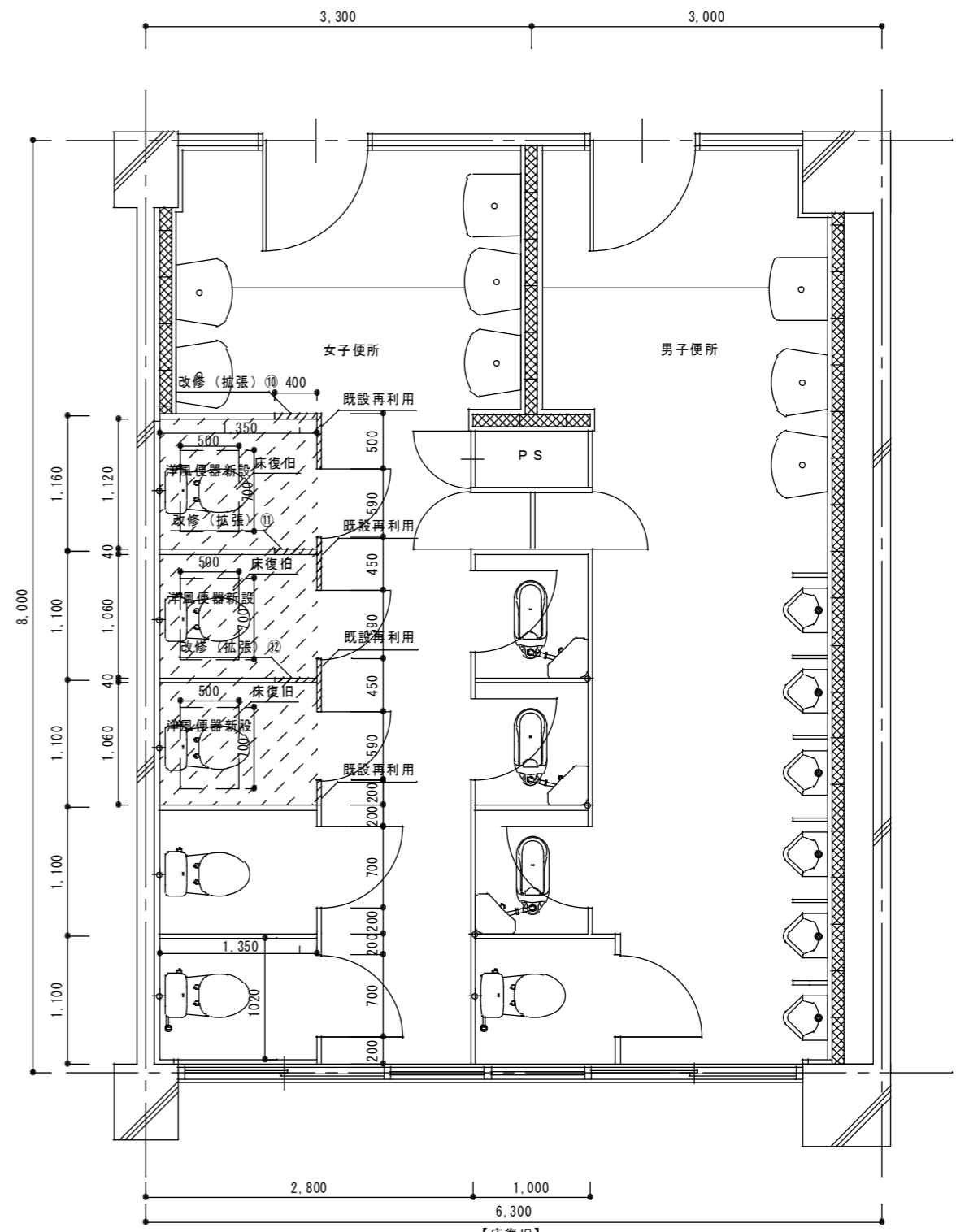
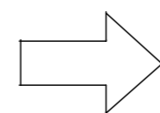
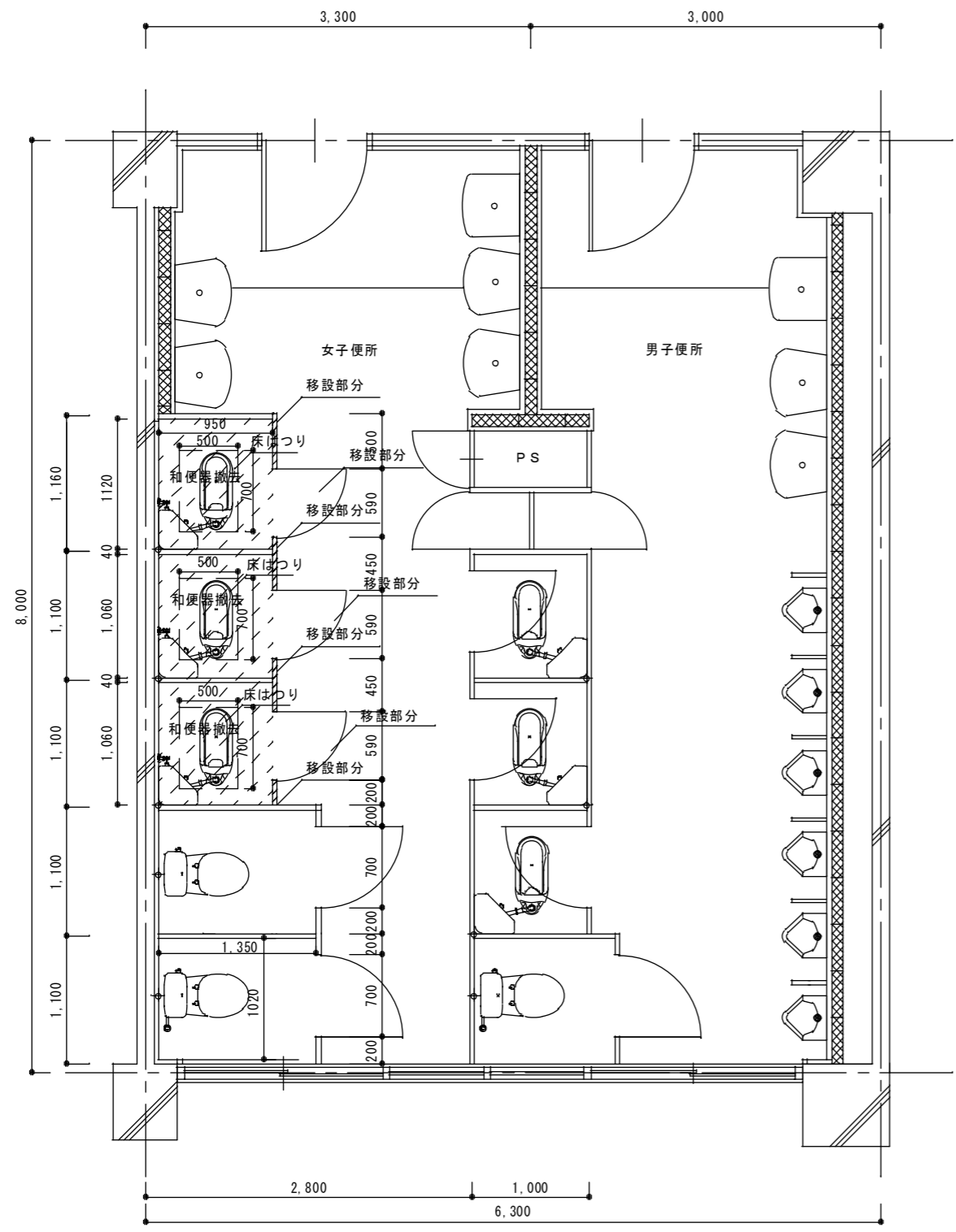


凡例  
※ : 改修箇所

緑ヶ丘中学校便所改修工事	A-11
普通教室棟 2階便所平面詳細図	1:50

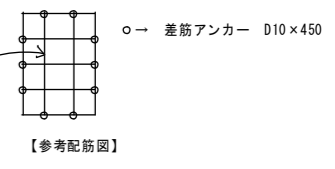
改修前

改修後

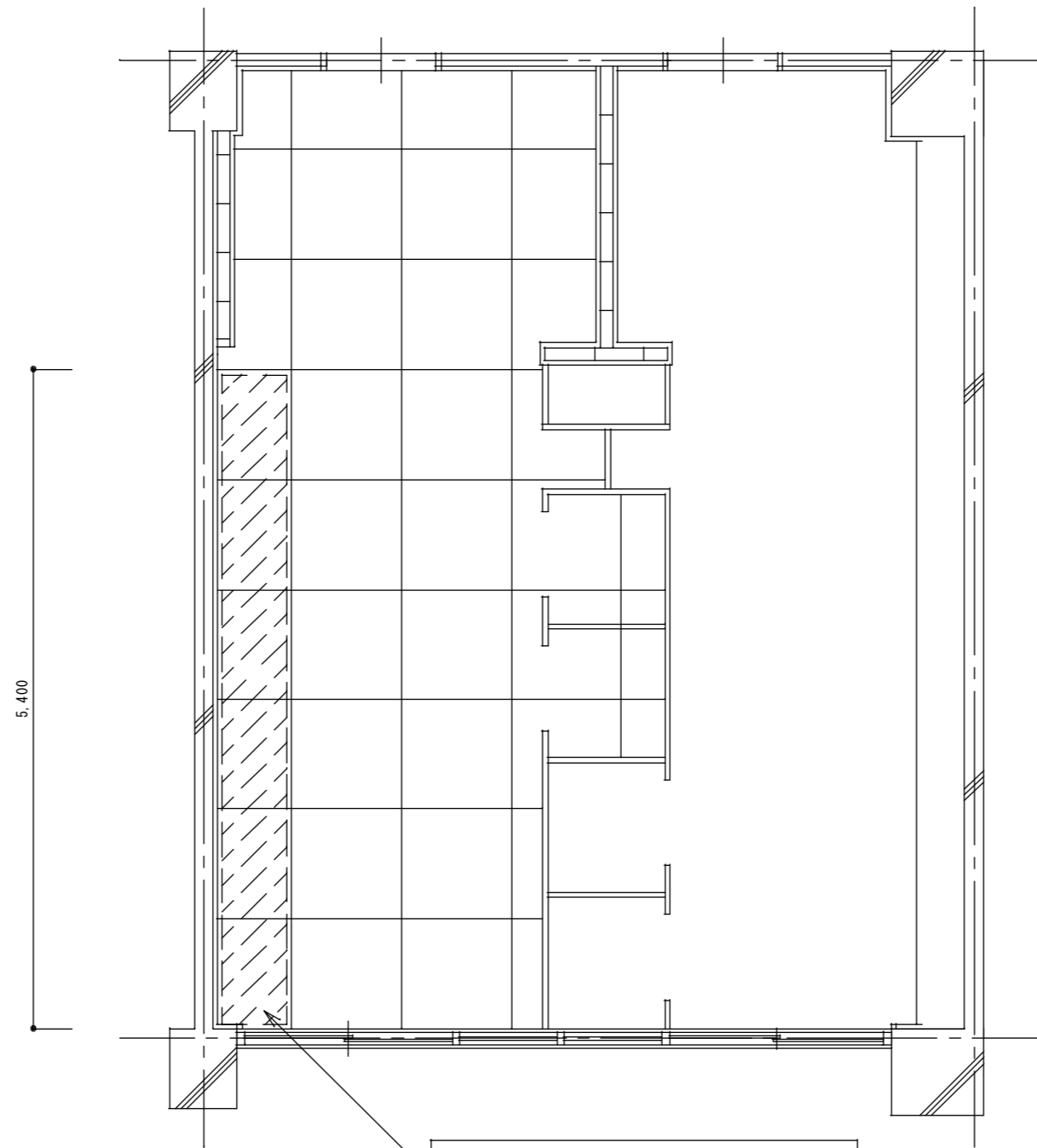


- 【床撤去】
- ・50角磁器モザイクタイル撤去
  - ・タイル下地モルタル撤去 t=30
  - ・防水押え軽量コンクリート t=50~70 撤去
  - ・アスファルト防水層 撤去
  - ・防水下地均しモルタル 撤去

- ・50角磁器モザイクタイル新設
- ・タイル下地モルタル新設
- ・防水押えコンクリート t=50~70 Fc=18 新設
- ・アスファルト防水層新設
- ・防水下地均しモルタル新設
- ・スラブコンクリート t=150 Fc=21 新設
- ・スラブ配筋タテヨコ共 D10-@150 SD295A 新設
- ・差筋アンカー D10



凡例  
※ : 改修箇所



【天井 撤去・復旧】  
 ケイカル板 t=6 目透し  
 軽量鉄骨下地 野縁 19形@225 直張り用  
 EP塗装

天井伏図  
 1F 2F

建具表 A-14

		トイレブース				
見込		t = 40mm				
仕上		ポリエステル化粧合板 (アルミ製エッジ)				
金物		T型サポート、アルミ製笠木、他一式				
備考 (使用箇所数)		普通教室棟 3階女子便所 1箇所				
姿図		<p>※  : 既設再利用部分</p>				
		トイレブース				
見込		t = 40mm				
仕上		ポリエステル化粧合板 (アルミ製エッジ)				
金物		グレビティヒンジ、T型サポート、アルミ製笠木、他一式				
備考 (使用箇所数)		普通教室棟 2階女子便所 1箇所				
姿図		<p>※  : 既設再利用部分</p>				
		トイレブース				
見込		t = 40mm				
仕上		ポリエステル化粧合板 (アルミ製エッジ)				
金物		T型サポート、アルミ製笠木、他一式				
備考 (使用箇所数)		普通教室棟 1階女子便所 1箇所				
姿図		<p>※  : 既設再利用部分</p>				



機械設備工事特記仕様書

I 工事名称	緑ヶ丘中学校便所改修工事			
II 工事場所	三重県伊賀市 緑ヶ丘本町 地内			
III 建物概要				
建物名称	構 造	延面積 (㎡)	消法令の適用	備 考

IV 工事仕様	特記事項
1. 施工基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <p>*国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書 最新版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築設備工事標準図 最新版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」 最新版 *国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 *電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) *電力会社供給約款 *消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む) *電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 *その他関連法規、関連諸基準</p>
2. 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に急かつ鋭突に施工すること。</p> <p>設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
・施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。</p> <p>*総合施工計画書 *詳細施工図(施工図リストを含む)</p> <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
・工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <p>*使用機材届出書(メーカーリスト) *機器明細図 *カタログ・製作図・その他諸資料</p> <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
・工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p>
・工事写真	<p>国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)-建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおCDの提出部数は「電子納品」を参照 *代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、撤出状況等)を抽出しL判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ) 1部</p>
・完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、L判相当サイズで印刷する。(A4版用紙に3枚/ページ) 1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
・完成書類	<p>工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <p>*工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 *製本図面(竣工図):図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズ及びA3縮小版を各2部。 白焼き(青焼き不可)で文字潰れのないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、工期、竣工図(又は施工図)、受注者名」を印字(シール不可)すること。 *引渡目録、工事書類預り書 *工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等) *工事書類(打合記録、工事材料搬入報告) *完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写真等) *官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等) *その他監督員の指示する書類</p> <p>ただし、作成したい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。</p>
・完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>

項目	特記事項
・足場	<p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法等による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行占有足場方式により行うこと。</p> <p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p> <p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
・施工条件	
・事故の発生時	
・発生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの( ) 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他( ) 処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ搬入 なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。)(マニフェストE票の写を監督員に提出する)</p>
・残土処分	<p>口構内敷きならし □場外搬出(片道運搬距離 約 km)</p>
・電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
・諸手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
・消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用紙及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p> <p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p>
・既設との取合い	
・既設設備の調査	<p>既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。</p>
・工事中の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡までの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
・不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
3. 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8年版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks) (2) 地域係数は1.0とする。 (3) 自重が100kg以下の比較的軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を念入りに施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 (4) 配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 (5) 機器の耐震計算書は提出すること。 重量1kN(100kg)以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。 (1) 使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 (2) 測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 (3) 設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。</p>
4. その他	
特記事項	<p>○ 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。 ○ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。 ○ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。 ○ 建物導入配管(給水、ガス、消火)は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。 ○ 水密を要する部分にはつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。 ○ 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。 ○ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ○ 土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。 ○ 屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 ○ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。 ○ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー(ステンレス製)とする。</p>

共通事項				
保温工事	○ 保温施工範囲は共通仕様書による。	○ 共通仕様書による。		
	○ 保温施工種別	○ 下表による。(但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。)		
	屋内露出	グラスウール保温箇所	合成樹脂製カバー-1	
	屋外露出・多湿箇所	グラスウール保温箇所	ステンレス鋼板仕上げ	
	天井・PS内	グラスウール保温箇所	アルミガラスクロス	
	床下・暗渠内	グラスウール保温箇所	着色アルミガラスクロス	
○ 保温厚さ	○ 共通仕様書による。			
	○ 下表による。(但し機器、煙道は共通仕様書による。)			
	給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管(但し屋外のみ)	80A以下 20mm	100~150A 25mm 200A以上 40mm	
		25A以下	32~200A 250A以上	
	冷水管・冷温水管	30mm	40mm 50mm	
○ 図面に特記ある箇所の冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。 通気管の露出管は、塗装工事を施す事。				
工事種別				
	屋外	屋内	空調設備	
給排水衛生設備		○	機器設備	
給水設備		○	配管設備	
排水設備		○	ダクト設備	
衛生器具設備		○	換気設備	
給湯設備			排煙設備	
ガス設備			自動制御設備	
消火設備				
ろ過設備				
浄化槽設備				
工事範囲				
○ 給水設備	○ 給水方式	○ 水道直結方式		
		○ 高架水槽方式	○ 市水 ○	
	○ 受水槽 本体	○ 圧送方式	○ 压力タンク	○ 回転数制御
		○ FRP製	○ 一体型	○ 複合板 ○ 単板
		○ ステンレス製	○ 一体型	○ ハネル型 ○ 複合板 ○ 単板
		○ 鋼板製	○ 一体型	○ ハネル型
	○ 高架水槽 本体	○ FRP製	○ 一体型	○ 複合板 ○ 単板
		○ ステンレス製	○ 一体型	○ 複合板 ○ 単板
	○ 配管材料	○ ライニング鋼管	一 般	○ VA ○ VB ○ VD ○ PA ○ PB ○ PD
			地 中(屋外)	○ VD ○ PD ○ SUS
		○ 塩化ビニル管	地 中(屋内)	○ HI ○ VP ○ ポリ管
		○ さや管工法	○ 架橋ポリ管	○
○ 弁 類	直結部分	○ 水道業者指定品		
	その他の部分	○ JIS 5 kgf/cm <sup>2</sup>	○ JIS 10 kgf/cm <sup>2</sup>	
○ 量水器	○ 貸与品	○ 買取品(私設)		
○ 引込加入、市納金等	○ 要	○ 別途工事	○ 本工事	
	○ 不要			
○ その他	○			
○ 排水設備	○ 排水方式	屋 内	○ 分流方式 ○ 合流方式	
		屋 外	○ 分流方式 ○ 合流方式	
	○ 放流先	雨 水	○ 分流方式 ○ 合流方式	
		汚 水	○ 下水管 ○ 浄化槽	○ 合併処理槽 ○ 既存樹
		雑排水	○ 下水管 ○ 浄化槽	○ 併用又は河川 ○ 既存樹
		雨 水	○ 雨水管 ○ 調整池	○ 併用又は河川 ○ 既存樹
	○ 配管材料	屋内汚水管	○ メカニカル形排水錆鉄管	○ 排水用塩ビライニング鋼管(可とう継手又はMD継手)
			○ 硬質塩化ビニル管(VP)	○ 耐火被覆ビニル管
雑排水管		○ 配管用炭素鋼管(白)	○ 排水用塩ビライニング鋼管(可とう継手又はMD継手)	
		○ 硬質塩化ビニル管(VP)	○ 耐火被覆ビニル管 ○ 耐熱塩化ビニル管(H.T)	
通気管	○ 配管用炭素鋼管(白)	○ 硬質塩化ビニル管(VP)	○ 耐火被覆ビニル管	
屋外排水管	○ 遠心力鉄筋コンクリート管 (外圧管	○ 2種 ○ 1種		
	○ 硬質塩化ビニル管(VP)	○ 硬質塩化ビニル管(VU) [150以上]		
○ 樹 類	○ 公団形(B種)	○ 現場打ち	○ 市販樹 ○ 小口径 ○ ビニル樹	
○ その他	○			
○ 衛生設備設備	○ 大便器洗浄方式	○ FV	○ 節水形 ○ 低圧形	
		○ 洗浄タンク		
○ 水 栓	○ 節水コマ(泡沫式は除く) ○ 普通コマ			
○ その他	○ 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。			
メーカースト 下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。				
管	継手共	水マーク表示品/WSP表示品/JISマーク表示品/HASS表示品/JPF規格品/SAS規格品		
弁	青銅弁・錆鉄弁	JISマーク表示品		
保温材	RW・GW保温材	JISマーク表示品		
衛生器具	衛生器具類	JISマーク表示品 JIS規格以外:LIXIL/TOTO		

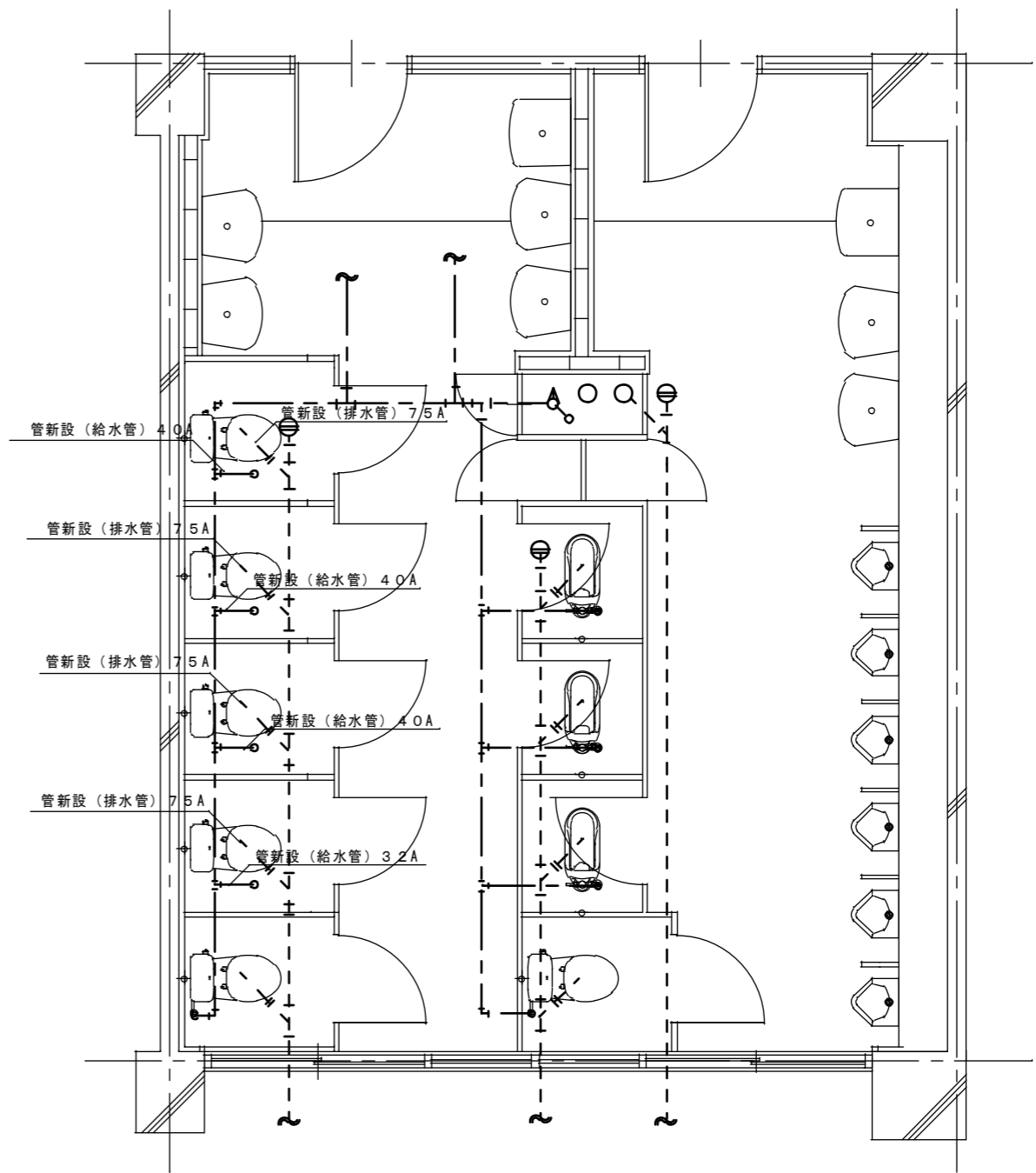
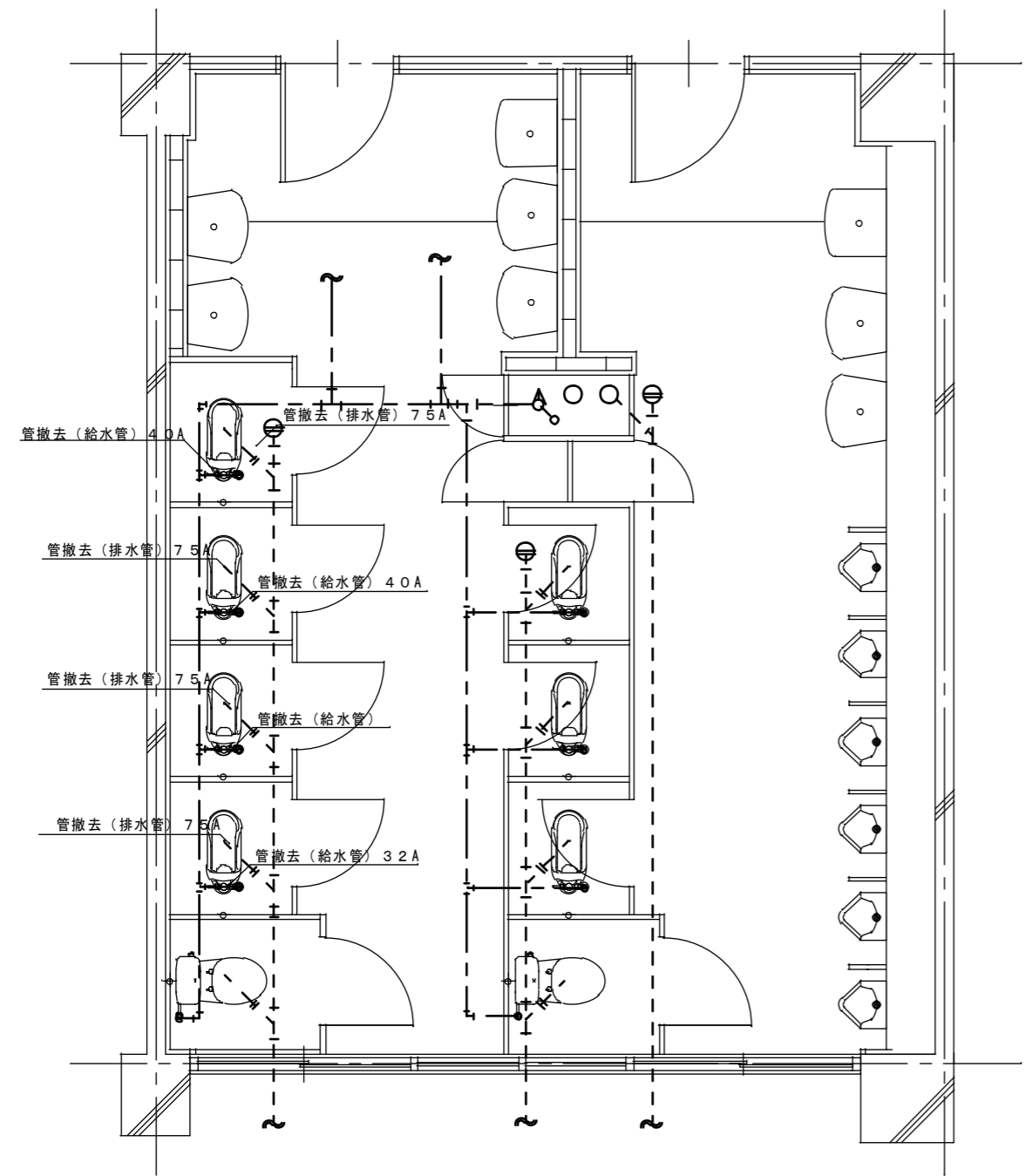
工事名 緑ヶ丘中学校便所改修工事

図面番号 M-01

図面名 機械設備工事特記仕様書

改修前

改修後



- 【管撤去】
- ・排水用鉛管 7.5A L=1m → 4箇所
  - ・給水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 3.2A 1m → 1箇所
  - ・給水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 4.0A 1m → 3箇所
- 【衛生器具】
- ・和風便器撤去 → 4組

- 【管新設】
- ・排水：塩化ビニル管 VP 7.5A 1m → 4箇所
  - ・給水：硬質塩化ビニルライニング鋼管 3.2A 1m → 1箇所
  - ・給水：硬質塩化ビニルライニング鋼管 4.0A 1m → 3箇所

- 【衛生器具新設】
- ・衛生器具：洋風便器
  - ・器具：BC-110STU、DT-5500BL (LIXIL 同等品)
  - ・普通便座：CF-37AT (LIXIL 同等品)
- 4組

【凡例】

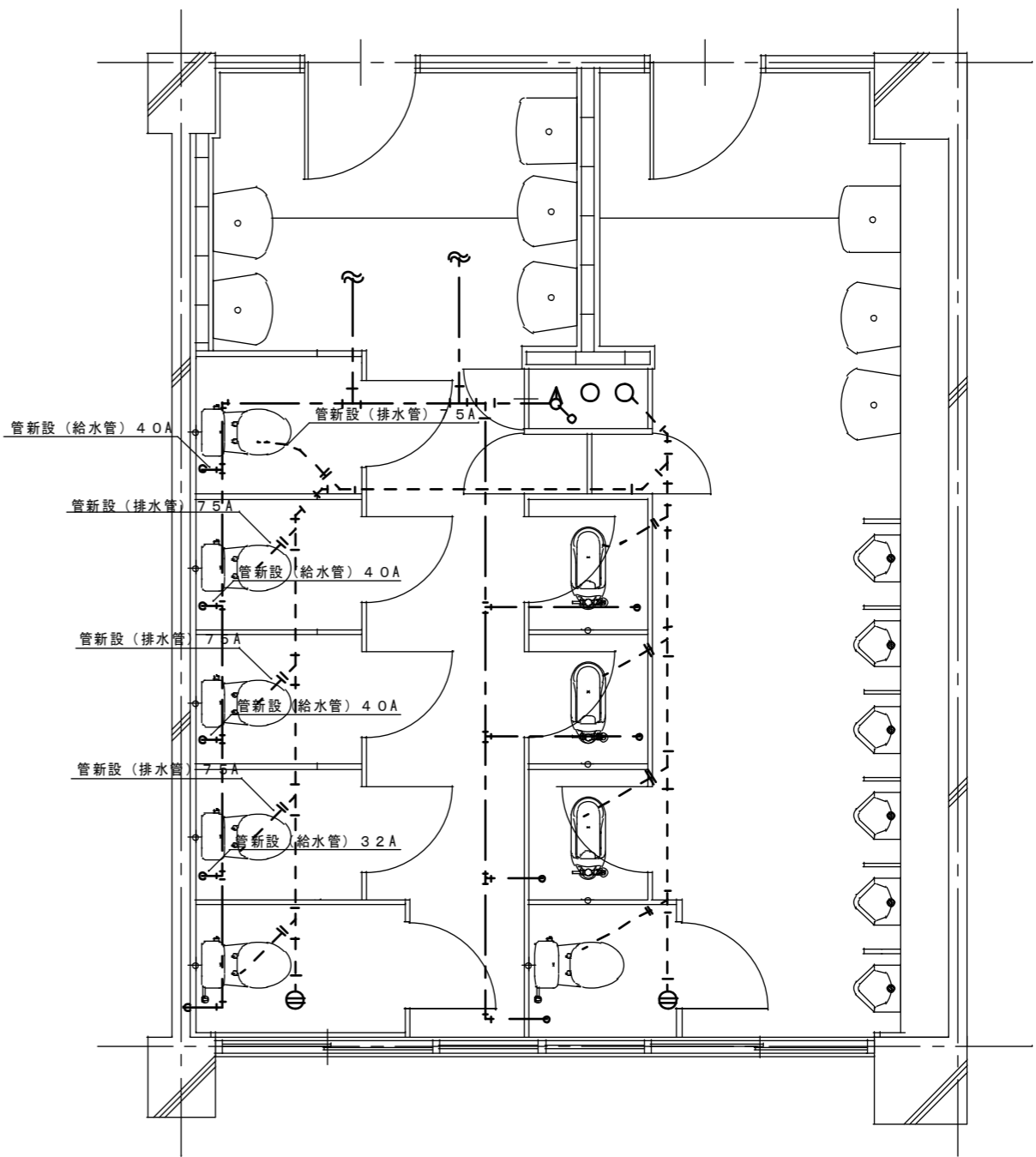
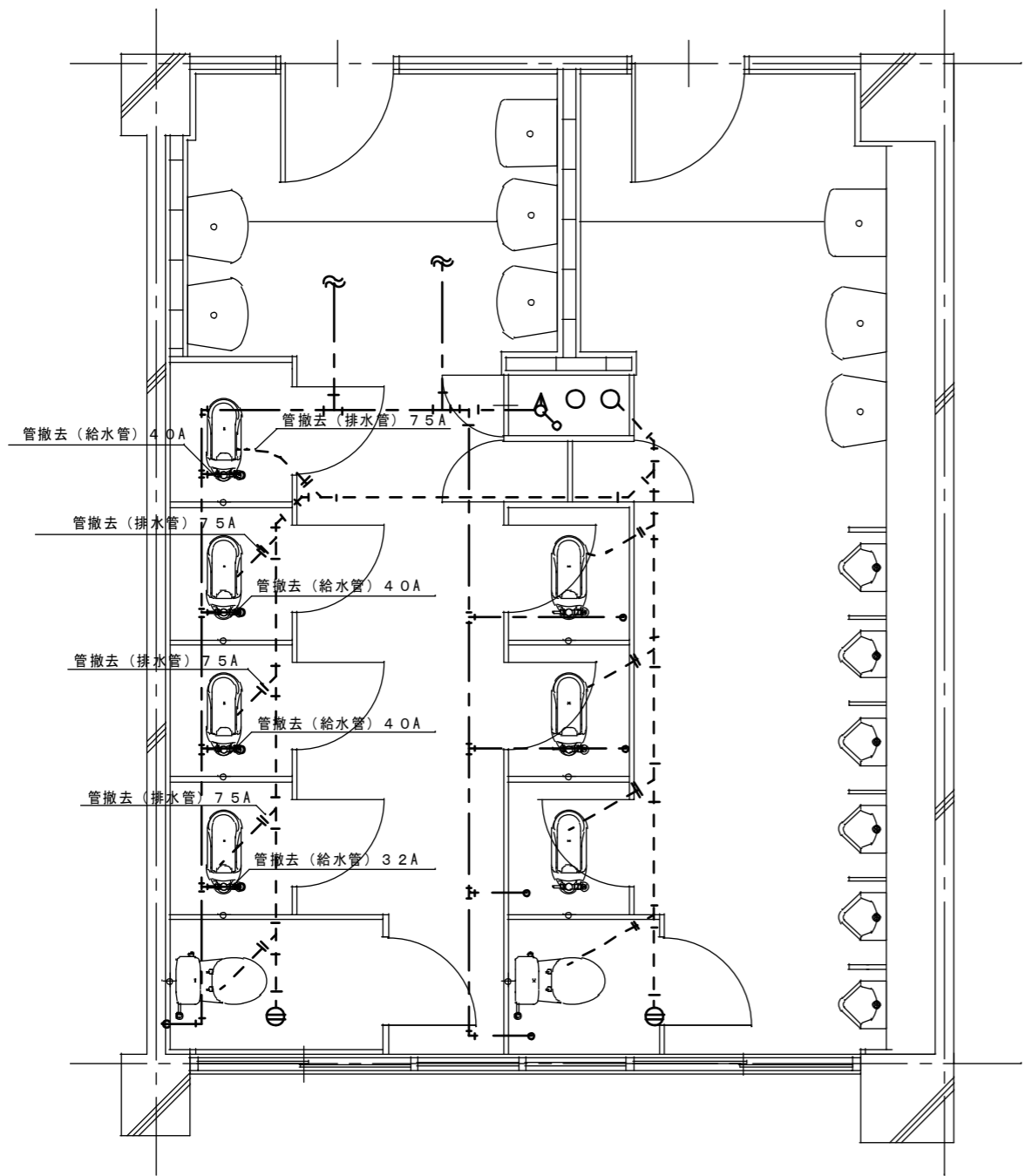
--- 排水・通気

— 改修部分 (実線)

--- 給水

改修前

改修後



- 【管撤去】
- ・排水用鉛管 7.5A L=1m → 4箇所
  - ・給水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 3.2A 1m → 1箇所
  - ・給水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 4.0A 1m → 3箇所
- 【衛生器具】
- ・和風便器撤去 → 4組

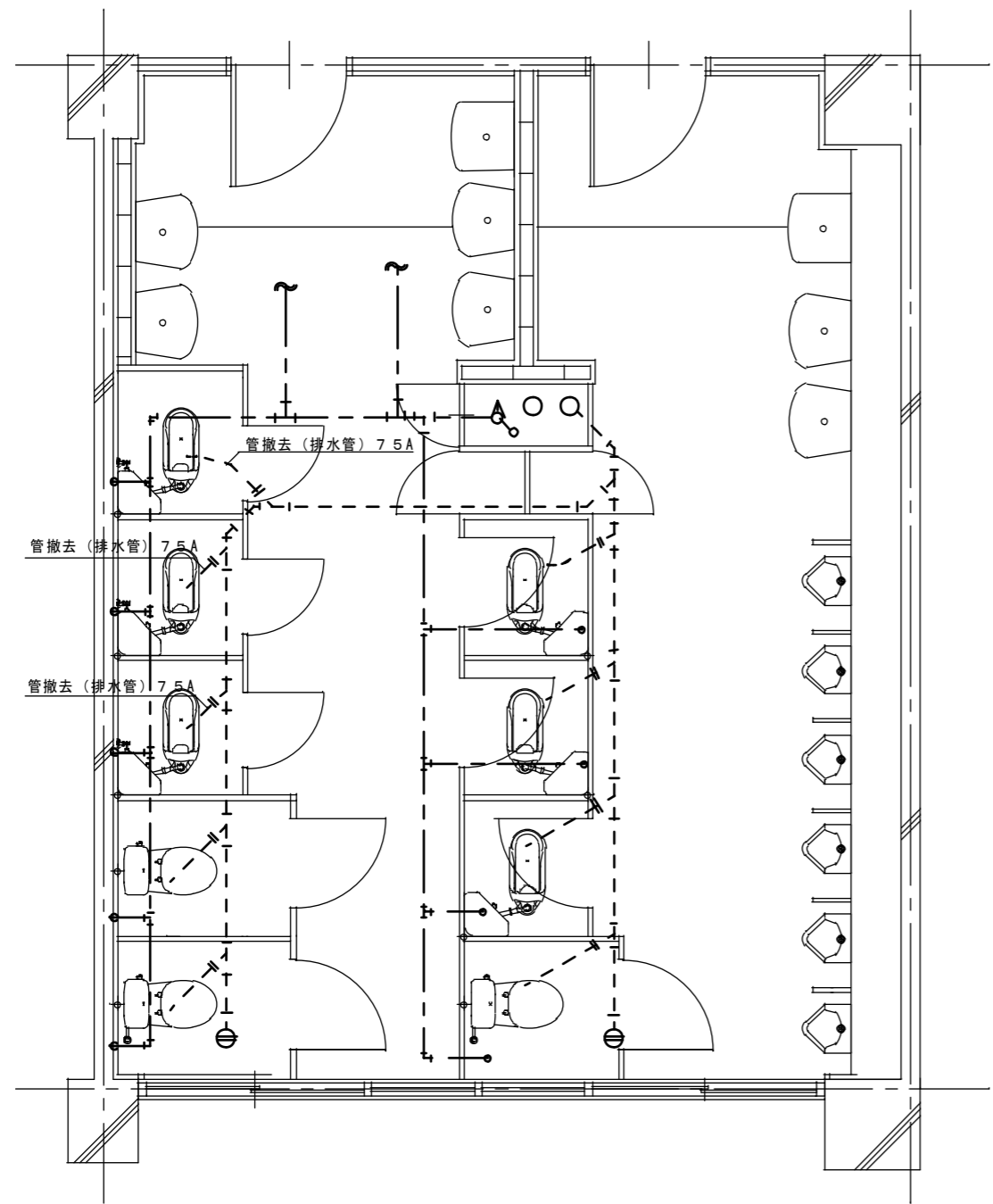
- 【管新設】
- ・排水：耐火二層管 7.5A 1m → 3箇所
  - ・給水：硬質塩化ビニルライニング鋼管 3.2A 1m → 1箇所
  - ・給水：硬質塩化ビニルライニング鋼管 4.0A 1m → 3箇所
  - ・保温工事 (グラスウール) 4.0A-20mm厚 3m → 3箇所
  - ・保温工事 (グラスウール) 3.2A-20mm厚 1m → 1箇所
- 【衛生器具新設】
- ・衛生器具：洋風便器
  - ・器具：BC-110STU、DT-5500BL (LIXIL 同等品) ] → 4組
  - ・普通便座：CF-37AT (LIXIL 同等品)

【凡例】  
 - - - - - 排水・通気  
 - - - - - 給水  
 ———— 改修部分 (実線)

緑ヶ丘中学校便所改修工事  
 普通教室棟 2階便所給排水衛生設備平面図

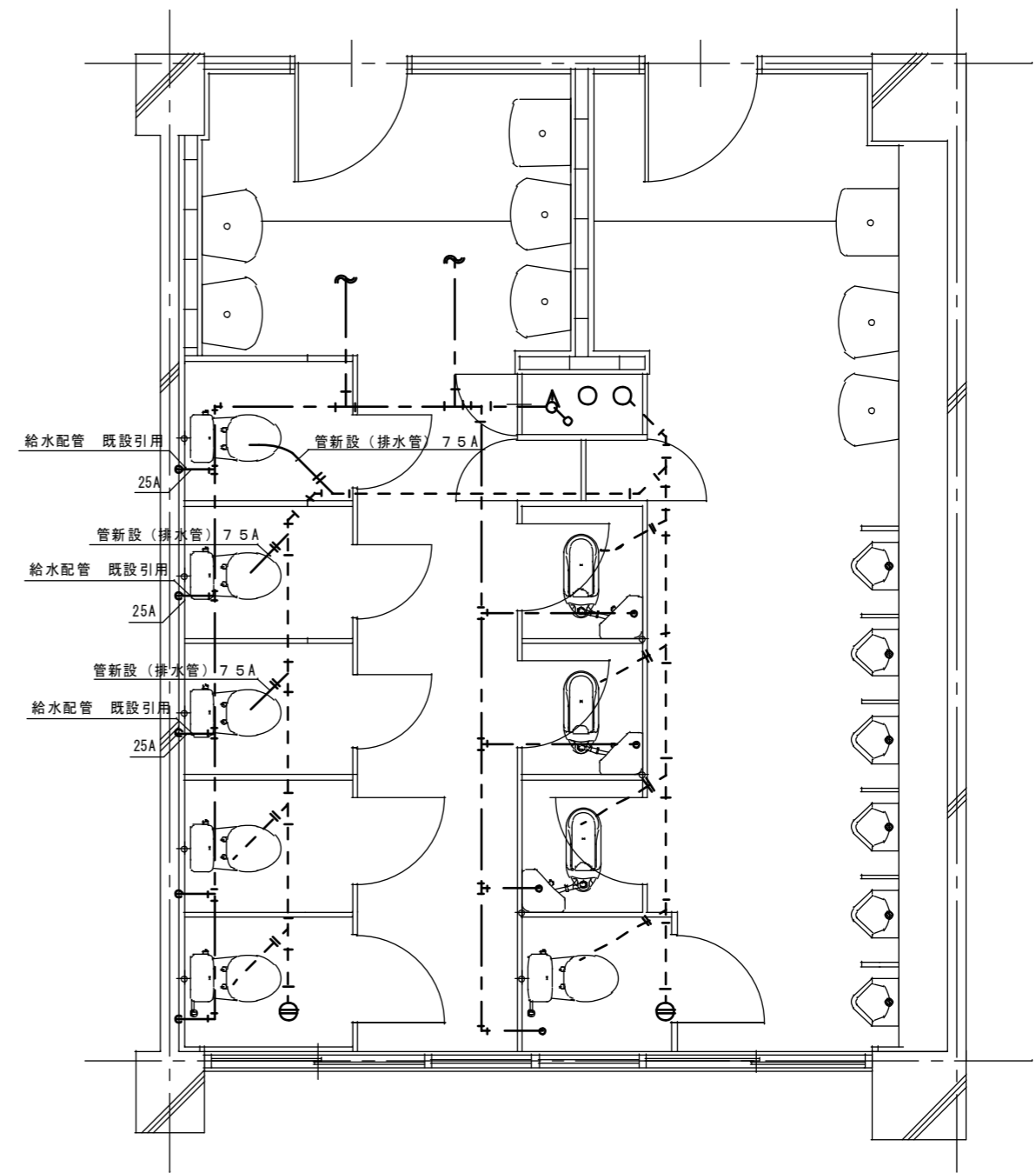
M-03  
 1 : 50

改修前



- 【管撤去】  
 ・排水用鉛管 7.5A L=1m →3箇所
- 【衛生器具】  
 ・和風便器撤去 → 3組

改修後



- 【管新設】  
 ・給水口は既設引用する →3箇所  
 ・排水：耐火二層管 7.5A 1m →3箇所
- 【衛生器具新設】  
 ・衛生器具：洋風便器  
 ・器具：BC-110STU、DT-5500BL (LIXIL 同等品) ] → 3組  
 ・普通便座：CF-37AT (LIXIL 同等品)

【凡例】  
 - - - - - 排水・通気  
 ———— 改修部分 (実線)  
 - - - - - 給水